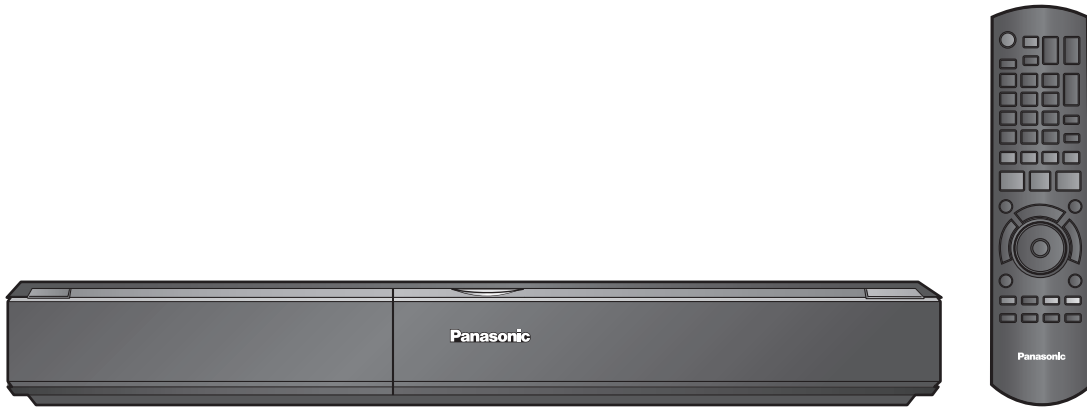




## 取扱説明書

### ブルーレイディスクプレーヤー

品番 DMP-T1000



<p><b>BD ビデオのリージョンコード</b> 発売地域別にディスクとプレーヤーに割り当てられたコードです。 本機のコードは「A」です。「A」（または「A」を含むもの）が表示されたディスクを再生できます。</p>	<p>例)</p> 
<p><b>DVD ビデオのリージョン番号</b> 発売地域別にディスクとプレーヤーに割り当てられた番号です。 本機の番号は「2」です。「2」（または「2」を含むもの）と「ALL」が表示されたディスクを再生できます。</p>	<p>例)</p> 

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(→38 ページ～裏表紙)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

# 付属品

付属品をご確認ください。

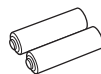
- 付属品をなくされたときは、サービスルート扱いでご用意しているものがありますので、ご注文ください。(品番を記載しているもののみ)
- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。



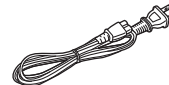
リモコン(1個)  
(N2QAYB000265)



映像・音声コード(1本)  
(K2KA6BA00003)



リモコン用乾電池(2本)  
単3形乾電池



電源コード(1本)  
(K2CA2CA00019)

電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

## 別売品のご紹介

### 映像や音声を楽しむには


コード/ケーブル名	長さ	品番	コード/ケーブル名	長さ	品番
音声コード (ステレオ ↔ ステレオ)	(0.5 m)	RP-CAP3G05	D端子ピンケーブル	(1.5 m)	RP-CVCDG15
	(1.0 m)	RP-CAP3G10		(3.0 m)	RP-CVCDG30
	(1.5 m)	RP-CAP3G15	光デジタルケーブル (光角型プラグ ↔ 光角型プラグ)	(0.5 m)	RP-CA2005
	(2.0 m)	RP-CAP3G20		(1.0 m)	RP-CA2010
	(3.0 m)	RP-CAP3G30		(1.5 m)	RP-CA2015
	(5.0 m)	RP-CAP3G50		(2.0 m)	RP-CA2020
	(10.0 m)	RP-CAP3G100	(3.0 m)	RP-CA2030	
映像・音声コード (ステレオ ↔ ステレオ)	(0.5 m)	RP-CVP3G05	HDMI ケーブル	(1.0 m)	RP-CDHG10
	(1.0 m)	RP-CVP3G10		(1.5 m)	RP-CDHG15
	(1.5 m)	RP-CVP3G15		(2.0 m)	RP-CDHG20
	(2.0 m)	RP-CVP3G20		(3.0 m)	RP-CDHG30
	(3.0 m)	RP-CVP3G30		(5.0 m)	RP-CDHG50
S映像コード	(1.0 m)	RP-CVSOG10			
	(2.0 m)	RP-CVSOG20			
	(3.0 m)	RP-CVSOG30			
	(5.0 m)	RP-CVSOG50			

### お手入れには

レンズクリーナー	RP-CL720
ブルーレイ/DVD ディスククリーナー	RP-CL750

付属品、別売品の品番は、2008年4月現在のものです。変更されることがあります。

—このマークがある場合は—

	<p>ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報 このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。 製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。</p>
---	--

# もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください。(→38ページ～裏表紙)

安全上の  
注意

準備

操作

設定

パソコンでの  
制御

ご参考

## 準備

付属品	2
使えるディスク・カードについて	4
テレビやアンブと接続する	6
電源コードを接続する	9
各部のはたらき	10
かんたん設定	11
テレビとアンブ操作の設定	11

## 操作

基本の操作 (映像の再生)	12
電源コード接続時や電源「入」時の便利な機能	14
ディストレイをロックする (ロックモード)	14
BD ビデオのいろいろな再生	15
チャプター再生	16
写真 (JPEG) を再生する	16
音楽の再生	18
FUNCTIONS メニューを表示する	18
HDAVI Control™ を使う	19

## 設定

GUI 画面を使って操作する	20
本機の設定を変える (初期設定)	22

## パソコンでの制御

パソコンと接続する	26
RS232C コマンド一覧	28

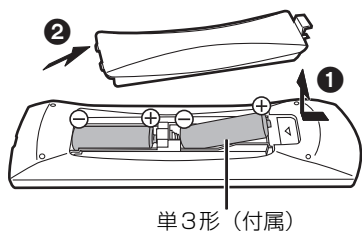
## ご参考

Q&A (よくあるご質問)	30
こんな表示が出たら	31
故障かな!?	32
著作権など	35
取り扱いについて	35
仕様	36
用語解説	37
保証とアフターサービス	裏表紙

本書内の表現について  
本書内で参照していただくページを(⇒○○)で示しています。

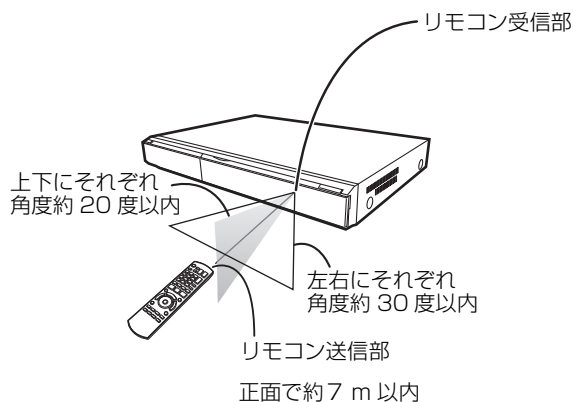
## リモコンの準備

### 電池の入れかた



- ⊕ ⊖ を確認してください。
- 入れたあとは、ふたを ⊖ 側から先にに入れて元どおり閉じてください。
- 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

### リモコンの使用範囲







- 本体をラックに入れて使用するときは、ガラス扉の厚さや色によって、操作できる範囲が狭くなる場合があります。
- リモコンと本機の間には障害物を置かないでください。
- リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。

# 使えるディスク・カードについて

## 市販ディスク

本機では下記の市販ディスクを再生できます。ディスクロゴはディスクやパッケージをご覧ください。






メディアの種類と ロゴ	特徴	本書内の表示
<b>BD ビデオ</b>  <b>BD-Video</b>	映画や音楽などハイビジョン画質・最大 7.1ch 音声に対応する市販ソフト ●本機では <b>BONUS VIEW™</b> (ボーナスビュー) 対応のディスクを再生できます。(⇒ 15) <b>BONUS VIEW™</b>	<b>BD-V</b>


メディアの種類と ロゴ	特徴	本書内の表示
<b>DVD ビデオ</b>  	映画や音楽などの市販ソフト	<b>DVD-V</b>
<b>CD</b> 	音楽や音声記録された市販ソフト CD-DA 規格に準拠していない CD (コピーコントロール CD など) は、動作および音質の保証はできません。	<b>CD</b>

## 記録されたディスク

本機では DVD レコーダー、DVD ビデオカメラやパソコンなどで記録した下記のディスクを再生できます。

**Finalized** このマークがあるディスクを本機で再生するには、記録した機器でファイナライズを行う必要があります。ファイナライズの方法など、詳しくはお使いの機器の説明書をご覧ください。

メディアの種類と ロゴ	フォーマット	本書内の表示
<b>BD-RE</b> <sup>※1</sup>  <b>BD-Video</b>	●Blu-ray Disc Rewritable Format Ver.3.0 ●Blu-ray Disc Rewritable Format Ver.2.0、2.1 ●JPEG	<b>BD-V</b> <sup>※2</sup> <b>BD-AV</b> <sup>※3</sup> <b>JPEG</b>
<b>BD-R</b> <sup>※1</sup>  <b>BD-Video</b>	●Blu-ray Disc Recordable Format Ver.2.0 ●Blu-ray Disc Recordable Format Ver.1.0、1.1	<b>BD-V</b> <sup>※2</sup> <b>BD-AV</b> <sup>※3</sup>
<b>DVD-RAM</b> 	●VR (DVD ビデオレコーディング) 規格 Ver.1.1 ●JPEG ●AVCREC ●AVCHD	<b>DVD-VR</b> <b>JPEG</b> <b>AVCREC</b> <b>AVCHD</b>
<b>DVD-R/RW</b> <b>Finalized</b>  	●DVD ビデオ規格 ●VR (DVD ビデオレコーディング) 規格 Ver.1.1 ●AVCREC (DVD-R のみ) ●AVCHD	<b>DVD-V</b> <b>DVD-VR</b> <b>AVCREC</b> <b>AVCHD</b>

メディアの種類と ロゴ	フォーマット	本書内の表示
<b>DVD-R DL</b> <b>Finalized</b> 	●DVD ビデオ規格 ●VR (DVD ビデオレコーディング) 規格 Ver.1.2 ●AVCREC ●AVCHD	<b>DVD-V</b> <b>DVD-VR</b> <b>AVCREC</b> <b>AVCHD</b>
<b>+R/+RW/+R DL</b> <b>Finalized</b>	●+VR (+R/+RW ビデオレコーディング) ●AVCHD	<b>DVD-V</b> <b>AVCHD</b>
<b>CD-R/RW</b> <b>Finalized</b>	●CD-DA ●MP3 ●JPEG	<b>CD</b> <b>MP3</b> <b>JPEG</b>

●使用するディスク、記録状態、記録方法やファイルの作りかたにより再生できない場合があります。  
●AVCHD 規格で記録されたディスクを再生中に、部分削除など編集された映像のつなぎ目で数秒間画像が静止することがあります。

※1 DL も含まれます。ブルーレイディスクの「DL」とは片面2層 (50 GB) のディスクを表しています。  
※2 当社製ブルーレイディスクレコーダー、DMR-BW200 で、ハイビジョンムービーの動画 (AVCHD) を記録した場合  
※3 2007 年以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで、番組やハイビジョンムービーの動画 (AVCHD) などを記録した場合 (2008 年 4 月現在)

## SD カード

本機では当社製デジタルハイビジョンビデオカメラやパソコンなどで記録した下記のカードを再生できます。

メディアの種類	フォーマット	本書内の表示
<b>SD メモリーカード*</b> (8 MB ~ 2 GB まで) <b>SDHC メモリーカード</b> (4 GB ~ 16 GB まで)	●JPEG ●AVCHD	<b>JPEG</b> <b>AVCHD</b>

\* miniSD カードや microSD カードも使用できます。  
●4 GB ~ 16 GB の SD カードは、SDHC ロゴのある SD カードのみ使用できます。  
●本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカード、および FAT32 形式でフォーマットされた SDHC メモリーカードに対応しています。  
●本書では上記の表のカードを「SD カード」と記載しています。

●miniSD カード、microSD カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。  
●使用可能領域は、表示容量より少なくなります。  
●SD カードをパソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。  
●当社製の SD カードをご使用になることをおすすめします。  
●SD カードは、幼児の手の届かないところに置いてください。  
●AVCHD 規格で記録された SD カードを再生中に、部分削除など編集された映像のつなぎ目で数秒間画像が静止することがあります。  
●誤消去防止のために、書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしてください。



## BD ビデオについて

- 本機は、BD ビデオの新しい再生機能である **BONUSVIEW™** (ボーナスビュー：BD-ROM Version 2 Profile 1 Version 1.1/Final Standard Profile) に対応しています (⇒ 15)。ディスクによってお使いいただける機能が異なります。
- 2枚組のBD ビデオを再生している場合、1枚目の再生が終了したあとディスクを取り出しても、再生画面が表示され続けることがあります。
- Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD High Resolution Audio や DTS-HD Master Audio など、BD ビデオの高音質なサラウンド音声 (7.1 チャンネル) について (⇒ 23)**
  - これらの音声フォーマットのデコーダーを内蔵し、HDMI Ver.1.3 以上に対応したアンプに HDMI ケーブルで接続 (⇒ 7) して、「Dolby Digital Plus/TrueHD」、「DTS-HD」(⇒ 23) を「Bitstream」に、「BD-Video Secondary Audio」(⇒ 23) を「Off」に設定すると出力できます。
  - 本機の HDMI 映像・音声出力端子に接続しても、「BD-Video Secondary Audio」を「On」に設定している場合は、Dolby Digital bitstream で出力されます。
  - 本機のデジタル音声出力端子に接続したときは、Dolby Digital または DTS の bitstream で出力されます。

## パソコンなどでファイルを作るときは

ファイルフォーマット	MP3	JPEG
ディスク	CD-R/RW*1	CD-R/RW*1、DVD-RAM*2、BD-RE*3、SD カード
拡張子	“.mp3”、“.MP3”	“.jpg”、“.JPG”
画素数	—	34×34 ~ 5120×3840 画素 (サブサンプリング：4:2:2、4:2:0)
対応ビットレート	32 kbps ~ 320 kbps	—
再生可能なサンプリング周波数	44.1 kHz/48 kHz	—
備考	<p>ID3 タグ：バージョン 1/2.2/2.3/2.4 ID3 タグは、MP3 ファイルに書き込まれている曲についての情報です。 本機は上記のバージョンの再生に対応していますが、表示できる情報はタイトルとアーティストの名前のみになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 静止画データなどが入った MP3 ファイルは再生できない場合があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MOTION JPEG：非対応</li> <li>● DCF*4 (Design rule for Camera File system) に準拠した JPEG 解凍時間：約 2 秒 (700 万画素)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 英数字以外の文字は、正しく表示されないことがあります。</li> <li>● メニュー画面とパソコンの画面では表示順が異なる場合があります。</li> <li>● ディスクの作りかたによっては、再生順が異なる場合があります。</li> <li>● パケットライト方式 (データ記録方式のひとつで、データを「パケット」と呼ばれる細かい単位に分割して書き込む方式) で記録されたファイルは再生できません。</li> <li>● 記録状態によっては再生できない場合があります。</li> <li>● ファイル数やフォルダ数が多い場合、再生開始までに時間がかかったり、再生できないことがあります。</li> </ul>	

\*1 使用できるフォーマット：ISO9660 level 1 および level 2 (拡張フォーマットを除く)、Joliet

本機はマルチセッションに対応しています。  
本機はパケットライト方式に対応していません。

\*2 使用できるフォーマット：UDF 2.0

\*3 使用できるフォーマット：UDF 2.5

\*4 DCF：Design rule for Camera File system [ 電子情報技術産業協会 (JEITA) ] にて制定された統一規格

### MP3/JPEG のフォルダ構造例

ディスク上に右記のようなフォルダを作成することで本機で MP3 や JPEG を再生することができます。

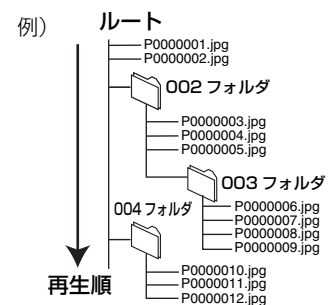
●DVD-RAM、BD-RE または SD カードでは、作成したフォルダを表示することはできません。

#### CD-R/RW に記録された MP3 の場合

再生したい順に3けたの番号を付けてください。

#### CD-R/RW に記録された JPEG の場合

フォルダ内のファイルは、更新された順、または撮影された順に表示されます。  
最上位の階層に「DCIM」フォルダがあるときは、ツリーの先頭に表示されます。



## 再生できないディスク

- カートリッジ付きの BD-RE
- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- 3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
- カードリッジ付きの DVD-RAM (TYPE1)
- DVD-RW Ver. 1.0
- +R 8 cm、DVD-ROM、CD-ROM、CDV、SACD、Photo CD、MV-Disc、PD
- DVD オーディオ
- ビデオ CD、SVCD
- WMA ディスク
- DivX ディスク
- PAL 方式で記録されたディスク
- HD DVD
- 1 秒間に 50 フレームのレートで記録された BD ビデオ
- 本機に対応していないディスク

# テレビやアンプと接続する

下記の接続例の中から、お使いの環境に合った方法で接続してください。  
テレビやアンプと接続後、電源コードを接続してください。(⇒ 9)

- 付属の映像・音声コードを使用してテレビに接続する場合 ⇒ **A**
- HDMI (⇒ 37) 対応テレビに接続する場合 ⇒ **B**
- HDMI 対応テレビ / アンプに接続してサラウンド音声をお楽しみになる場合 ⇒ **C** (⇒ 7)
- その他の接続方法に関しては 7 ~ 8 ページをご覧ください。

- 本機をアンプなどの熱源となるものの上に置かないでください。
- ビデオを経由させて接続しないでください。著作権保護の影響により、映像が乱れることがあります。
- 接続時は各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。各機器の説明書もご覧ください。

## 節電のために

電源を切った状態でも、電力を消費しています (約 1 W)。長期間使用しないときは、節電のため電源コードをコンセントから抜いておくことをおすすめします。

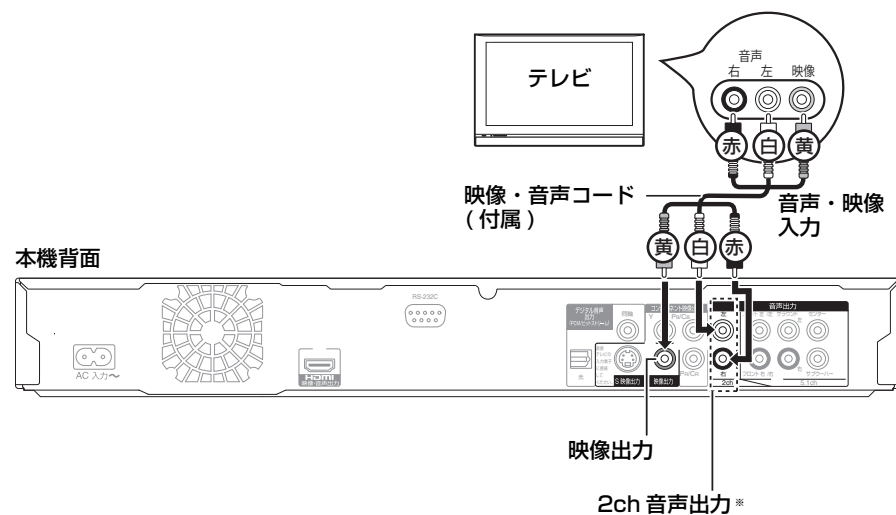
HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ (⇒ 表紙) のある「High Speed HDMI™ ケーブル」をお買い求めください。当社製 HDMI ケーブルのご使用をおすすめします。

品番：RP-CDHG10 (1.0 m)、RP-CDHG15 (1.5 m)、RP-CDHG20 (2.0 m)、RP-CDHG30 (3.0 m)、RP-CDHG50 (5.0 m) など

- 1080p 出力をされる場合は、5 m 以下の HDMI ケーブルをお使いください。

## 基本接続

### A 映像・音声コード (付属) を使用してテレビに接続する



お知らせ

- 同じ色の端子に接続してください。
- この接続でハイビジョン映像を出力することはできません。ハイビジョン映像を楽しむには **B**、**C** または **⑥** (⇒ 7) の接続を行ってください。



ヒント

\* 音声コード (赤、白) を使用してアナログアンプまたはシステムコンポーネントの 2 ch 音声入力端子に接続し、ステレオ音声をお楽しみいただけます。

#### より高画質で楽しむには

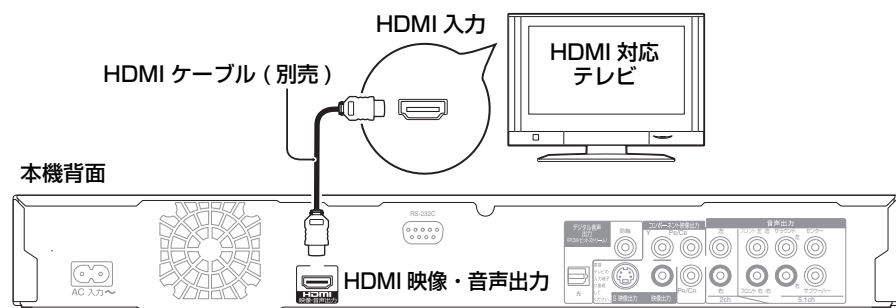
- **①** または **⑥** (⇒ 7) の接続を行ってください。

#### より高音質で楽しむには

- **⑦** または **⑧** (⇒ 8) の接続を行ってください。(音声コード (赤、白) は、外してください)

### B HDMI 対応テレビに接続する

高画質、高音質の映像と音声をケーブル 1 本で楽しむことができます。



お知らせ

#### 以下の設定をしてください

- 「HDMI Video Mode」と「HDMI Audio Output」を「On」に設定してください。(⇒ 24)



ヒント

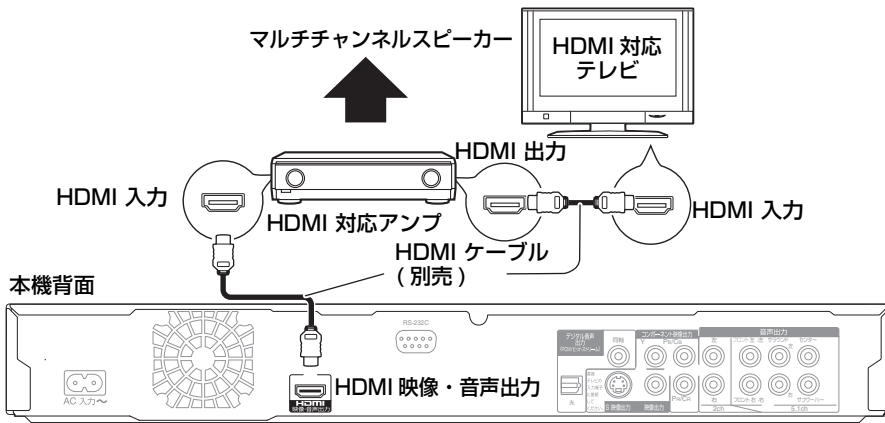
#### より高音質で楽しむには

- **⑦** または **⑧** (⇒ 8) の接続を追加してください。その場合は、「HDMI Video Mode」を「On」に、「HDMI Audio Output」を「Off」に設定してください。(⇒ 24)

HDAVI Control 機能に対応した当社製テレビと接続すると連動操作が可能になります。(⇒ 19)

## ㉟ HDMI 対応テレビ / アンプに接続する

HDMI 対応マルチチャンネルアンプに接続すると、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD および DTS-HD で記録された高音質サラウンドを楽しむことができます。



お知らせ

以下の設定をしてください

- 「HDMI Video Mode」と「HDMI Audio Output」を「On」に設定してください。(⇒ 24)
- 「Speaker」を「Multi Channel」に設定してください。(⇒ 24)
- 「Digital Audio Output」をお使いのアンプに応じて設定してください。(⇒ 23)



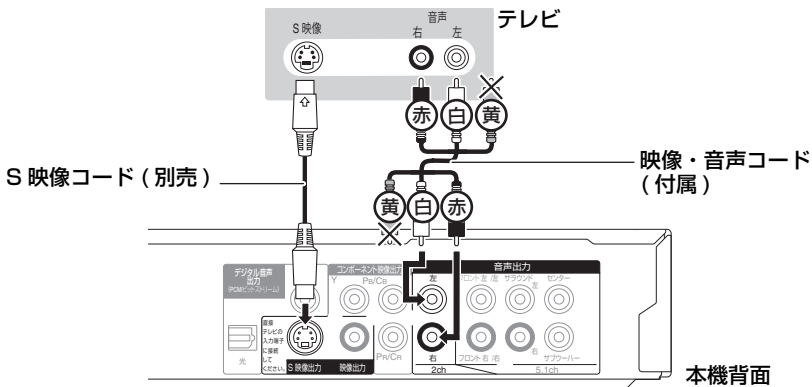
ヒント

HDAVI Control 機能に対応した当社製テレビと接続すると連動操作が可能になります。(⇒ 19)

## その他の映像端子を使用した接続方法

### ㊸ S 映像出力端子

S 映像出力端子を使用すれば、映像出力端子よりも高画質な映像を出力できます。



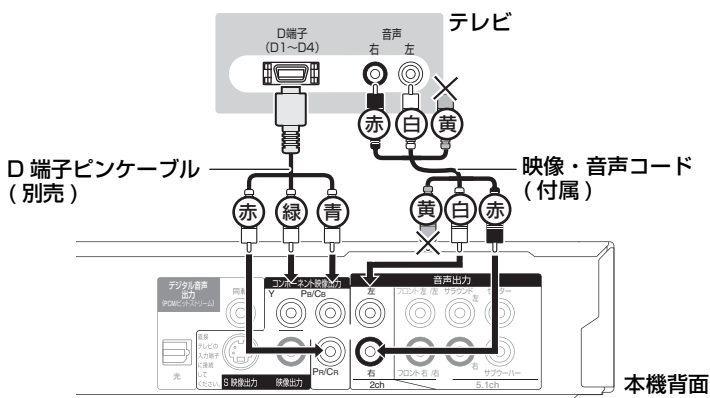
お知らせ

●この接続でハイビジョン映像を出力することはできません。ハイビジョン映像を楽しむには ㉞ (⇒ 6)、㉟ または ㊸ の接続を行ってください。

- 映像・音声コードの黄色プラグは、外してください。
- 実際の画質は、テレビによって異なります。

### ㊹ コンポーネント映像出力端子

720p、1080i 信号に対応した D3/D4 端子やコンポーネント映像端子に接続すると、ハイビジョン映像を楽しむことができます。



お知らせ

- 同じ色の端子に接続してください。
- 映像・音声コードの黄色プラグは、外してください。
- BD ビデオにはコンポーネント映像出力端子からのハイビジョン映像出力が禁止されているものがあります。その場合は解像度が 480p に変換されて出力されます。



ヒント

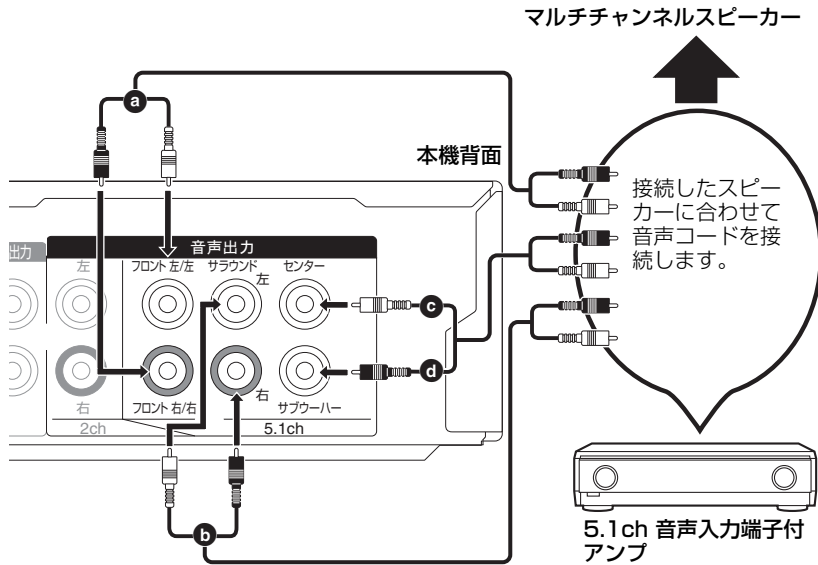
ハイビジョン / プログレッシブ映像を楽しむには

- 480p 以上に対応したテレビに接続してください。
- 「Component Video Resolution」を「480p」、「720p」または「1080i」に設定してください。(⇒ 24)
- 「HDMI Video Mode」を「Off」に設定してください。(⇒ 24) 「On」の場合は、映像は 480i で出力されます。

## アンプに接続する (HDMI 接続以外)

### ㊦ 5.1ch 音声出力端子を使用してアンプに接続する

5.1ch 音声出力端子を使用してサラウンド音声をお楽しみいただけます。



#### ケーブル接続

- ㊦ フロントスピーカー (左/右)
- ㊧ サラウンドスピーカー (左/右)
- ㊨ センタースピーカー
- ㊩ サブウーハー



以下の設定をしてください

「TV/Device Connection」タブの「Speaker」で「Multi Channel」(⇒ 24)を選んで、マルチチャンネルスピーカーの設定を変更してください。

- 7.1 チャンネル音声は 5.1 チャンネルにダウンミックスされます。

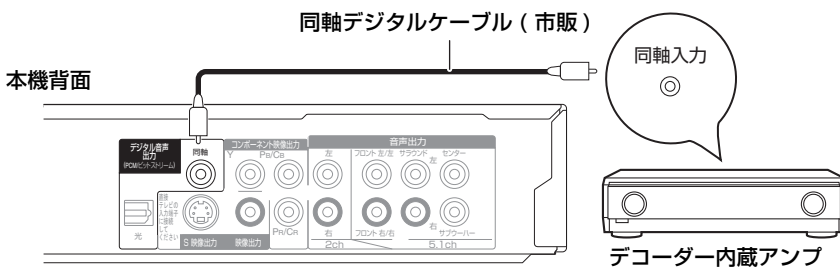
HDMI 対応テレビに接続している場合 (⇒ 6、㊧)

- 初期設定「HDMI Audio Output」を「Off」に設定してください。(⇒ 24)「On」に設定すると、音声 テレビのスピーカーからも出力されます。
- ディスクの作成方法によっては、音声 が正しく出力されないことがあります。

### ㊧ デジタル音声出力端子を使用してアンプに接続する

デジタル音声出力端子を使用してサラウンド音声をお楽しみいただけます。

同軸出力端子を使用



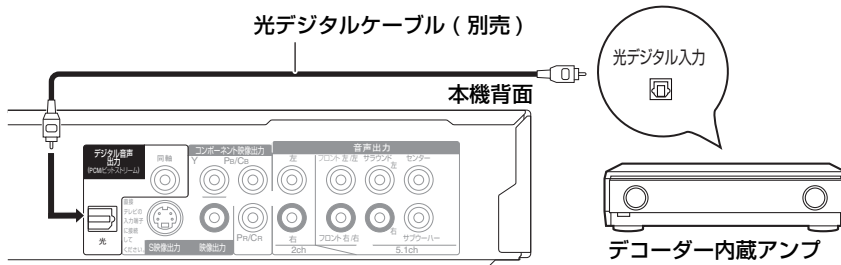
以下の設定をしてください

●「Digital Audio Output」を接続するアンプに合わせて設定してください。(⇒ 23)

HDMI 対応テレビに接続している場合 (⇒ 6、㊧)

- 初期設定「HDMI Audio Output」を「Off」に設定してください。(⇒ 24)「On」に設定すると、音声 はご希望の設定では出力されません。

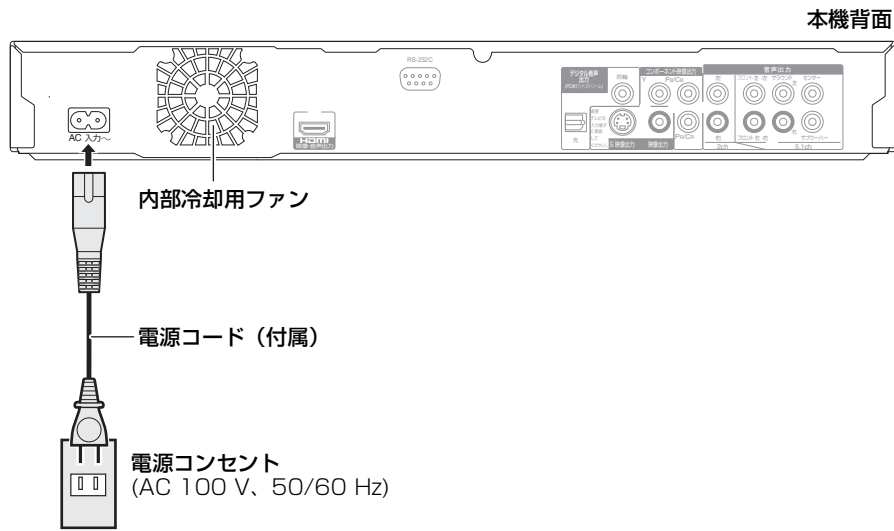
光出力端子を使用





# 電源コードを接続する

電源コードは、すべての接続が終わったあと、接続してください。

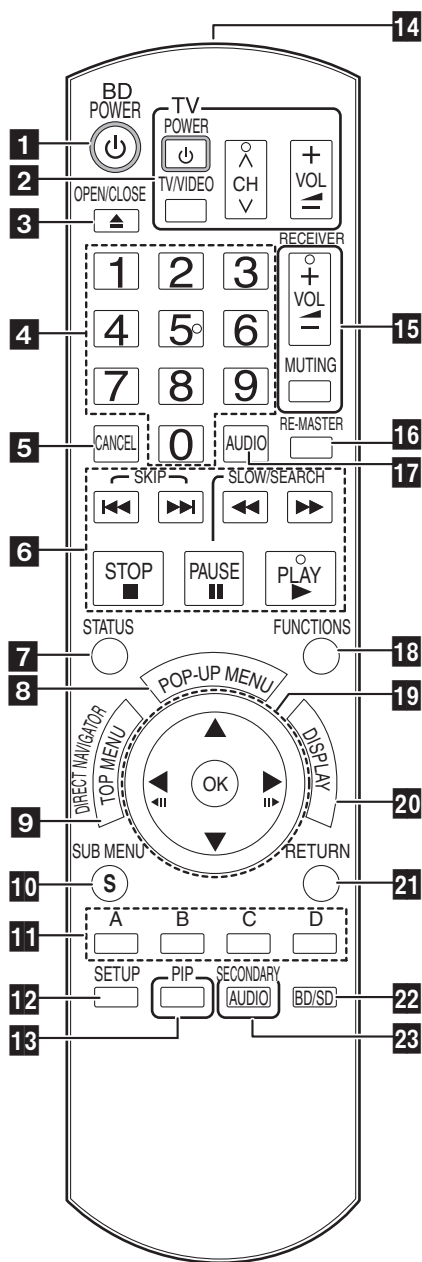


ヒント

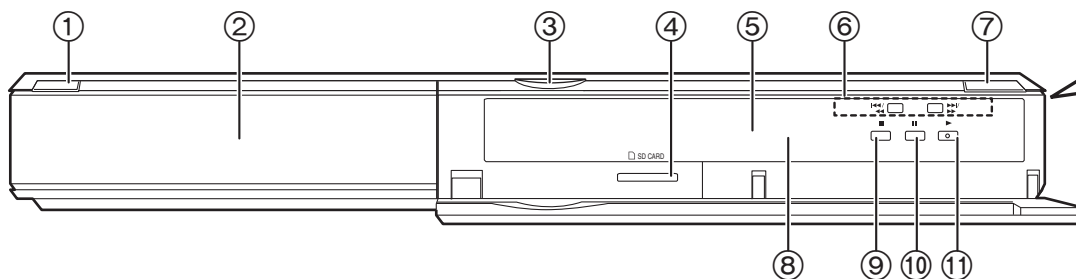
- パソコンで本機を制御する場合は、電源コードを接続する前に、パソコンとの接続を行ってください。(⇒ 26)
- 電源コード接続時に、自動的に本機の電源が「入」の状態にすることができます。[⇒ 14、自動電源 On (Auto Power On) 機能]

準備

# 各部のはたらき



- 1 本機の電源 (⇒ 11)
- 2 テレビ操作部 (⇒ 11)  
本機のリモコンでテレビの操作ができます。  
[TV POWER]: テレビの電源の切/入  
[TV/VIDEO]: 入力切換  
[^ v CH]: チャンネルの切り換え  
[+ - VOL]: 音量の調節
- 3 ディスクトレイの開閉 (⇒ 12)
- 4 数字ボタン  
タイトル番号などを選ぶ / 数字を入力する (⇒ 13)
- 5 入力した数値などを取り消す
- 6 再生時の基本操作 (⇒ 12、13)
- 7 再生状態を確認する (⇒ 13)
- 8 ポップアップメニューを表示する (⇒ 15)
- 9 トップメニュー / ナビ画面を表示する (⇒ 12)
- 10 サブメニューを表示する (⇒ 13)
- 11 BD ビデオの Java™ アプリケーション (BD-J) を操作します。  
より詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。  
また、[A]・[B] ボタンは、「Title View」、「Picture View」、「Album View」画面でも使用できます。(⇒ 16)
- 12 初期設定画面を表示する (⇒ 22)
- 13 副映像の入 / 切 (⇒ 15)
- 14 リモコン送信部
- 15 アンブ操作部 (⇒ 11)  
本機のリモコンでアンブの操作ができます。  
[+ - VOL]: 音量の調節  
[MUTING]: 消音 (ミュート)  
より自然な音を再現する (⇒ 13)
- 16 より自然な音を再現する (⇒ 13)
- 17 音声を切り換える (⇒ 13)
- 18 FUNCTIONS メニューを表示する (⇒ 18)
- 19 選択 / 決定、コマ送り (⇒ 13)
- 20 GUI 画面を表示する (⇒ 20)
- 21 前の画面に戻る
- 22 BD/SD を切り換える (⇒ 12)
- 23 BD ビデオの副音声の入 / 切 (⇒ 15)



- ① 電源ボタン (POWER ㊦) (⇒ 11)  
本機が操作を受けつけなくなった場合は、3 秒以上押し続けてください。電源が切れます。
- ② ディスクトレイ (⇒ 12)
- ③ SD カード LED  
●点灯 / 消灯の設定ができます。(⇒ 24、SD Card LED Control)
- ④ SD カードスロット (⇒ 16)
- ⑤ 本体表示窓

- ⑥ 早送り・早戻し / スロー再生 / スキップ (⇒ 13)  
早送り・早戻し: 押し続ける (再生中)  
スロー再生: 押し続ける (一時停止中)  
スキップ: 押す
- ⑦ ディスクトレイ開閉ボタン (⇒ 12)
- ⑧ リモコン受信部 (⇒ 3)
- ⑨ 停止 (⇒ 13)
- ⑩ 一時停止 (⇒ 13)
- ⑪ 再生 (⇒ 12)

 ●ディスク挿入時に表示  
 ●SD カード挿入時に表示

ディスクや SD カードを読み込んでいるときに点滅します。

本機背面の端子については (⇒ 6 ~ 9)

# かんたん設定

お買い上げ後はじめて電源を入れると、基本的な設定を行う画面が表示されます。

## 準備

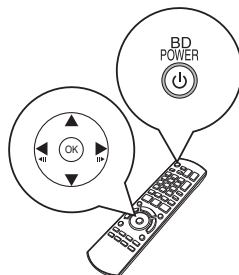
テレビの電源を入れ、本機を接続した入力に切り換える

### ① [⏻ BD POWER] を押す

設定画面が表示されます。

### ② 画面上の指示に従い、[▲, ▼]、および [OK] を使用して設定を行う

「On-screen Language」と「TV Aspect」(⇒ 24)の設定ができます。



ヒント

- この設定は初期設定「Easy Setting」を選ぶことでいつでも実行できます。(⇒ 22)
- 「On-screen Language」と「TV Aspect」の設定を個別に変更することもできます。(⇒ 22)

準備

# テレビとアンプ操作の設定

本機のリモコンを使用して、テレビまたはアンプの操作ができます。

リモコンをテレビまたはアンプに向けて

### ① テレビの場合

[⏻ TV POWER] を押しながら、数字ボタンで4けたのコードを入力する

アンプの場合

[MUTING] を押しながら、数字ボタンで4けたのコードを入力する

例) 0001: [0] ⇒ [0] ⇒ [0] ⇒ [1]

### ② テレビの電源を切 / 入したりアンプの音量調節ができるか確認する



お知らせ

- ご使用のテレビメーカーもしくはアンプメーカーのコードが一覧表に複数記載されている場合は、正しく動作するものを選んでください。
- ご使用のテレビ、アンプもしくはレシーバーのメーカーコードが一覧表にないか、または記載されているコードで動作しない場合、本機のリモコンはご使用になれません。テレビ、アンプまたはレシーバーに付属のリモコンをご使用ください。
- ミュートに設定されている場合は、もう一度 [MUTING] を押してください。

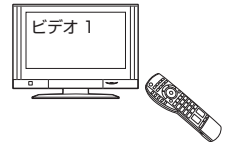
ブランド	テレビコード
Panasonic	0051/0055/0250/0650
ADVENT	0761/0783/0815/0817/0842
AKAI	0030/0098/0672/0702/0812
AMERICA ACTION	0180
AOC	0003/0019/0030/0052/0137/0185
APEX DIGITAL	0748/0765/0767/0879/0890
AUDIOVOX	0003/0092/0180/0451/0623/0802/0875/1937
AXION	1937
BANG & OLUFSEN	0620/1620
BROKSONIC	0003/0236/0463
CASIO	0611/1205
DAEWOO	0019/0039/0066/0067/0091/0092/0451/0623/0661/0672/1661
EMERSON	0019/0038/0039/0154/0158/0171/0177/0178/0179/0180/0181/0182/0183/0185/0236/0270/0280/0282/0463/0623
ENVISION	0030/0813
EPSON	0833/0840
FISHER	0154/0159
FUJITSU	0179/0186/0683/0809/0853
GE	0021/0027/0029/0047/0051/0055/0135/0138/0174/0178/0251/0279/0282/0451/0747/1347/1447
GOLDSTAR	0019/0030/0032/0106/0178/0317/0409/0442/0457/0700/0856/1178/1265
GO VIDEO	0886
HAIER	0768/1034
HANNSPREE	1348/1351/1352
HEWLETT PACKARD	1088/1089/1101/1494/1502
HISENSE	0748
HITACHI	0016/0032/0038/0056/0095/0097/0145/0151/0173/0227/0279/0409/0413/1145
INFOCUS	0736/0738/0741/0752/0781/1164/1516
JVC	0036/0053/0069/0160/0169/0182/0731/1253
KLH	0765/0767
LG	0019/0030/0032/0106/0178/0317/0409/0442/0457/0700/0856/1178/1265
LOEWE	0136
MAGNAVOX	0020/0024/0028/0030/0036/0054/0096/0179/0186/0187/0230/0386/0706/0802/1254/1454
MARANTZ	0030/0054/0444/0704/0854/0855/1154
MEMOREX	0016/0106/0150/0154/0178/0179/0463

ブランド	テレビコード
MITSUBISHI	0014/0019/0093/0098/0150/0155/0178/0331/0358/0836/0868/1250
NORCENT	0748/0824/1089
OPTOMA	0887
ORION	0179/0236/0463/1463
PHILIPS	0054/0690/1154/1454
PHILIPS MAGNAVOX	0020/0024/0028/0030/0036/0054/0096/0179/0186/0187/0230/0386/0706/0802/1254/1454
PIONEER	0038/0166/0172/0679/0866
POLAROID	0765/0865/1262/1276/1314/1316/1326/1327/1328/1341/1498/1523
PROSCAN	0047/0747/1347/1447
PROVIEW	0835/1401/1498
RCA	0018/0019/0029/0038/0047/0090/0135/0174/0278/0679/0747/1047/1147/1247/1347/1447/1547
RUNCO	0017/0030/0251/0497/0603
SAMPO	0030/0032/0039/0052/0100/0110/1755
SAMSUNG	0019/0030/0032/0056/0060/0178/0329/0408/0427/0587/0702/0766/0812/0814/1060
SANSUI	0463
SANYO	0088/0107/0146/0154/0159/0232/0484/0799/0893
SHARP	0039/0093/0153/0157/0165/0220/0281/0386/0398/0491/0688/0818/0851
SONY	0000/0011/0080/0111/0273/0353/0810/0834/0867/1100
SVA	0587/0748/0768/0865/0870/0871/0872
SYLVANIA	0020/0028/0030/0054/0065/0096/0171/0381
SYMPHONIC	0171/0180
SYNTAX-BRILLIAN	1007/1144/1240/1255/1257/1258/1331
TATUNG	0003/0049/0055/0396/1101/1756
THOMSON	0209/0210/0047
TOSHIBA	0036/0060/0149/0154/0156/0650/0832/0845/1156/1164/1256/1265/1356/1656/1704
ULTRA	0391
VIEWSONIC	0857/0864/0885/1755
WESTINGHOUSE	0885/0889/0890/1282/1577
YAMAHA	0019/0030/0769/0833/0839
ZENITH	0016/0017/0092/0178/0463/1265

ブランド	アンプコード	レシーバーコード
Panasonic	0308	1308/0039/0367/1641/2001/2002
Technics	0308	1308/0039/0208
BOSE	0674	1229/0639/1253/1933
DENON		1360/0004/0121/0273/1142/1306/1311
HARMAN		0110/0189/1289/1306
KARDON		0110/0189/1289/1306
KENWOOD		1313/0027/0042/0077/0186
KLH		1390/1412/1428
LINN		0189
MARANTZ		1189/1269/0039/0189/0128/1120/1289
MCINTOSH	0251	1289
NAD		0320
ONKYO		0135/0380/1298/1320
PHILIPS		1189/1269/0189/0391/1120/1266/1368
PIONEER	0823	1023/0150/0244/0531/0630/1343/1384
QUASAR		0039
RCA	0823	1023/1609/1254/0054/0530/0531/1074/1390/1511
SAMSUNG		1295
SANYO		1251/1469/1801
SHARP		0186/1361
SHERWOOD		0491/0502/1077/1423/1517/1653
SONY	0815/1126	1622/0158/0168/0474/1367/1529/1658/1758
TEAC		0463/1074/1390
TOSHIBA		0135
YAMAHA	0354	1023/0176/0186/1331

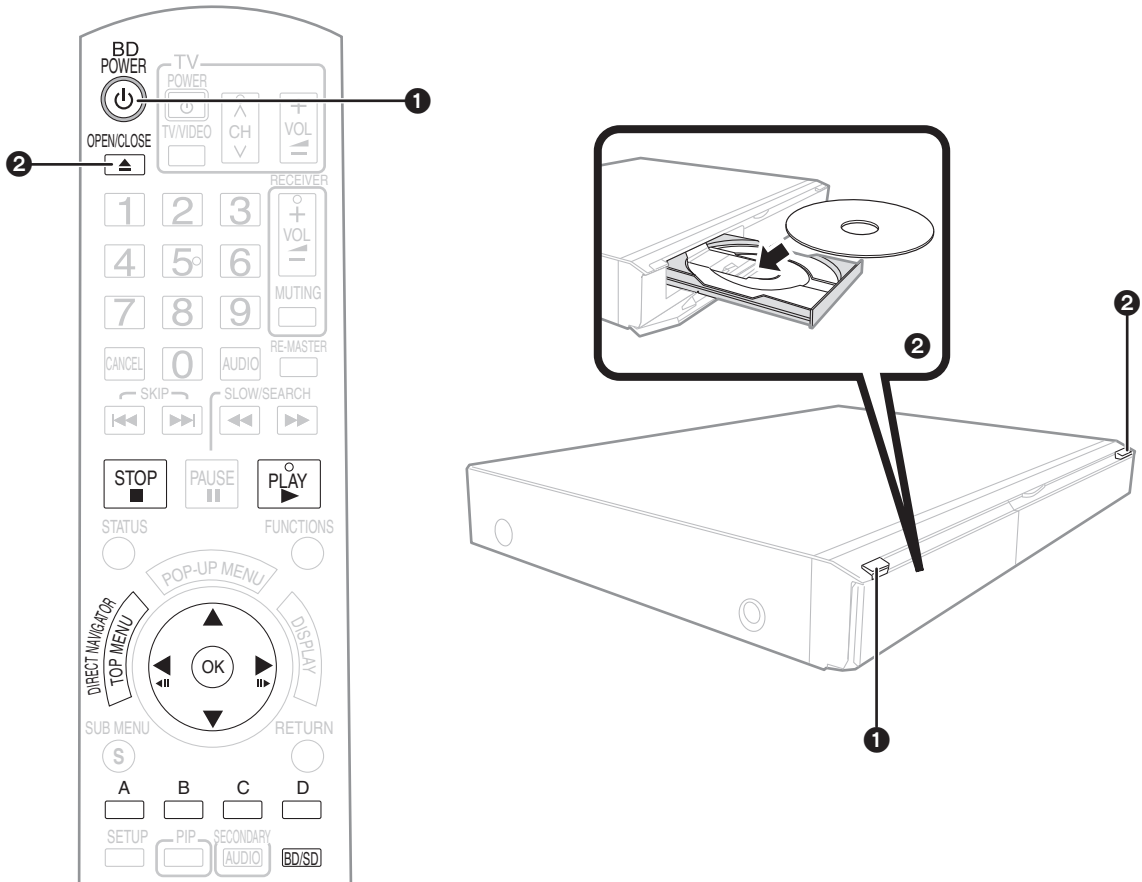
# 基本の操作（映像の再生）

本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。



## 準備

テレビの電源を入れ、本機を接続した入力に切り換えてください。



① [⏻ BD POWER] を押して本機の電源を入れる

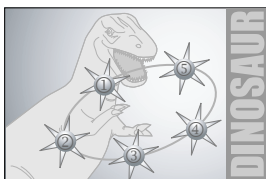
② [▲ OPEN/CLOSE] を押してディスクトレイを開き、ディスクを入れる

- もう一度押して、ディスクトレイを閉じてください。
- 両面ディスクの場合、再生したい面を下にして入れてください。
- DVD-RAM の場合、使用前にディスクをカードリッジから取り出してください。

再生が開始されます。

- 異なるファイルフォーマットのディスクを入れると、ファイル選択メニューが表示されます。[▲, ▼] を押して好みのファイルフォーマットを選び、[OK] を押してください。
- 再生が開始しない場合は、[▶] (PLAY) を押してください。

例) **BD-V**（市販 BD ビデオ）



例) **DVD-VR**

No.	Date	Day	Channel	Start	Title Name
01	9/ 5	Fri	ATV 6	10:30AM	
02	9/ 5	Fri	ATV 6	11:30PM	
03	9/ 5	Fri	ATV 6	11:59PM	
04	9/ 6	Sat	ATV 2	10:30AM	
05	9/ 6	Sat	DTV 001	11:30AM	
06	9/ 6	Sat	---	11:39PM	
07	9/ 7	Sun	---	10:30AM	
08	9/ 7	Sun	---	10:30AM	
09	9/ 7	Sun	ATV 2	11:30AM	
10	9/ 7	Sun	ATV 2	11:59PM	

- メニューが表示されたときは、[▲, ▼, ◀, ▶] を押して項目を選び、[OK] を押してください。
- 色ボタンを使用するように画面で指示されたときは、リモコンの色ボタンを使用して操作を続けてください。



お知らせ

- メニュー画面表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [■] を押して停止させてください。



ヒント

- **ドライブを切り換えるには**  
ディスクを再生するには、[BD/SD] を押して「BD」を選んでください。
- 停止中にディスクまたは SD カードを入れると、ドライブが自動的に入れたメディアに切り換わりません。

メニュー画面を表示するには

**BD-V** **BD-AV** **AVCREC** **AVCHD** **DVD-VR** **DVD-V**  
[TOP MENU/DIRECT NAVIGATOR] を押す

- ディスク制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。ディスクの説明書もご覧ください。



ヒント

- AVCHD で記録された SD カードを再生できます。

## 再生中のその他の操作 (ディスクによっては機能しないものもあります)

### STOP 停止

停止位置が記憶されます。

#### レジューム再生

[▶] (PLAY) を押すと停止位置から再生が始まります。

- トレイを開けたり、[■] を数回押すと停止位置の記憶は解除されます。

### PAUSE 一時停止

- [||] をもう一度押す、または [▶] (PLAY) を押すと、再生を再開します。

SLOW/SEARCH



### 早送り・早戻し / スロー再生

押すたびに、または押したままにすると、速くなります (5 段階)。

- [▶] (PLAY) で通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、速度が速くならないことがあります。

#### 早送り・早戻し

再生中に [◀◀] または [▶▶] を押す

- 本体の [◀◀/▶▶] または [▶▶/▶▶] を押し続けてください。

● **BD-V** **BD-AV** **AVCREC** **AVCHD** **DVD-VR** **DVD-V** :

早送りの 1 速時のみ音声が出ます。

- **CD** **MP3** : 1 段階の速度のみ

#### スロー再生

一時停止中に [◀◀] または [▶▶] を押す

- 本体の [◀◀/▶▶] または [▶▶/▶▶] を押し続けてください。

● **BD-V** **BD-AV** **AVCREC** **AVCHD** : 送り方向 [▶▶] のみ。

- **DVD-VR** : スロー再生が約 5 分間続いた場合、自動的に一時停止します。

SKIP



### スキップ

押した回数だけタイトル、チャプター、またはトラックを飛び越します。



### 選んだ項目から再生する

選んだ番号のタイトルまたはチャプターから再生を開始します。

**BD-V** **AVCHD**

**DVD-V**

例) 5: [0] ⇒ [0] ⇒ [5]      例) 5: [0] ⇒ [5]

15: [0] ⇒ [1] ⇒ [5]      15: [1] ⇒ [5]

- 停止中 (画面に右記の画像が表示) は、タイトルが表示されます。再生中は、チャプターが表示されます。



### コマ送り / コマ戻し

一時停止中に [◀] (◀||) または [▶] (||▶) を押す

押すたびに次のコマを表示します。

- 押し続けると連続してコマ送り (戻し) します。

● [▶] (PLAY) で通常再生に戻ります。

- **BD-V** **AVCHD** : コマ送り [▶] (||▶) のみ。

### 画面モードを切り換える

画面の上下左右に黒帯が表示された場合、画像を大きく表示します。

- ① [SUB MENU] を押す
- ② [▲, ▼] で「Screen Aspect」を選び、[OK] を押す
- ③ [◀, ▶] で「Side cut」または「Zoom」を選ぶ

Normal: 通常の出力になります。

Side cut: 16 : 9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。黒帯がない映像の場合、左右の映像がカットされますので、お気をつけください。

Zoom: 4 : 3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示します。黒帯がない映像の場合、上下の映像がカットされますので、お気をつけください。

- 「TV Aspect」が「4:3 Pan & Scan」または「4:3 Letterbox」に設定されている場合、「Zoom」は機能しません。

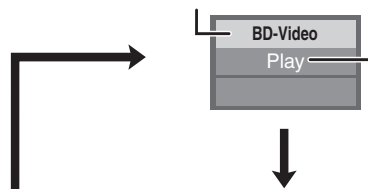
STATUS



### 再生状態を確認する

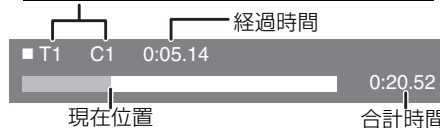
現在の再生状態の情報を表示します。[STATUS] を押すたびに、以下のように情報が切り換わります。

例) **BD-V**      ディスクの種類      再生状態



表示しない

T: タイトル      表示される項目は再生するディスクによって異なります。  
C: チャプター  
PL: プレイリスト



ディスクの種類または再生状態によっては、表示されないことがあります。

AUDIO

### 再生中に音声を切り換える

**BD-V** **AVCHD** **DVD-V**

例) **DVD-V**

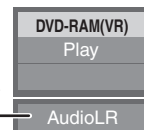


英語を選んだ場合

ボタンを押すたびに、音声チャンネル番号が切り換わり、サウンドトラック言語などを切り換えることができます。(⇒ 20、Soundtrack)

**BD-AV** **AVCREC** **DVD-VR**

AudioLR→AudioL→Audio R



「AudioLR」を選んだ状態

RE-MASTER



### より自然な音を再現する

(48 kHz 以下で記録されたディスク)

ディスクに記録されていない高い周波数信号を付け加えることで、より自然な音質が楽しめます。

### [RE-MASTER] で「Re-master 1」、 「Re-master 2」または「Re-master 3」を選ぶ

お好みのモードを選んでください。

設定	LPCM 音声を再生するとき音源に適した設定を選択	その他の種類の音声を再生するとき効果の強弱を選択
Re-master 1	テンポの速い曲 (ポップス・ロックなど)	弱
Re-master 2	さまざまなテンポの曲 (ジャズなど)	中
Re-master 3	テンポの遅い曲 (クラシックなど)	強
Off	切	切

- HDMI 映像・音声出力端子またはデジタル音声出力端子から出力される音声に対しては、「Digital Audio Output」が「PCM」に設定されているときのみ有効です。(デジタル音声出力端子からの 2 チャンネル音声出力になります)

# 電源コード接続時や電源「入」時の便利な機能

## 自動電源 On (Auto Power On) 機能

下記の設定を行うと、電源コードを接続(⇒9)時は、自動的に本機の電源が「入」になります。

- 1 停止中に [SETUP] を押す
- 2 [▲, ▼] で「Setup」タブを選び、[OK] を押す
- 3 [▲, ▼] で「Auto Power On」を選び、[◀, ▶] で「On」を選ぶ



お知らせ

●お買い上げ時の設定は、「Off」です。(⇒22)

●電源コードを抜いても、設定は保持されます。



ヒント

●画面を消すには [SETUP] を押す

## 自動再生 (Auto Play) 機能 BD-V BD-AV AVCREC AVCHD DVD-V DVD-VR

下記の設定を行うと、ディスクが入っている状態で本機の電源を入れる(⇒12)と自動的に再生を開始します。

- 1 停止中に [SETUP] を押す
- 2 [▲, ▼] で「Setup」タブを選び、[OK] を押す
- 3 [▲, ▼] で「Auto Play」を選び、[◀, ▶] で「On」を選ぶ



お知らせ

●お買い上げ時の設定は、「On」です。(⇒22)

●この機能は、BD または DVD にのみ有効です。

●電源コードを抜いても、設定は保持されます。



ヒント

●下記のように設定すると、電源コードを接続時は、自動で電源が「入」になり、再生を開始します。

Auto Power On (⇒上記) : On  
Auto Play : On

●画面を消すには [SETUP] を押す

## タイトルリピート (Title Repeat) 機能 BD-V BD-AV AVCREC AVCHD DVD-V DVD-VR

下記の設定を行うと、再生を開始する(⇒12)と自動的にタイトルをリピート再生します。

- 1 停止中に [SETUP] を押す
- 2 [▲, ▼] で「Setup」タブを選び、[OK] を押す
- 3 [▲, ▼] で「Title Repeat」を選び、[◀, ▶] で「On」を選ぶ



お知らせ

●お買い上げ時の設定は、「Off」です。(⇒22)

●この機能は、BD または DVD にのみ有効です。

●電源コードを抜いても、設定は保持されます。

●ディスクによっては、正しく動作しないことがあります。



ヒント

●下記のように設定すると、電源コードを接続時は、自動で電源が「入」になり、タイトルリピート再生を開始します。

Auto Power On (⇒上記) : On  
Auto Play (⇒上記) : On  
Title Repeat : On

●画面を消すには [SETUP] を押す

# ディスクトレイをロックする (ロックモード)

下記の設定を行うと、ディスクトレイの開閉を無効にできます。

- 1 本体の [▶▶/▶▶] と [▲ OPEN/CLOSE] を同時に5秒以上押し続ける  
●本体表示窓に「LOCK」と表示されます。



お知らせ

●この機能は、ディスクが入っているときのみ有効です。

●ロックモード中は、RS232C 制御(⇒28)でもディスクトレイを開くことはできません。

●電源コードを抜いても、設定は保持されます。



ヒント

●ロックモードを解除するには [▶▶/▶▶] と [▲ OPEN/CLOSE] を同時に5秒以上押し続けてください。(本体表示窓に「UNLOCK」と表示されます)

# BD ビデオのいろいろな再生

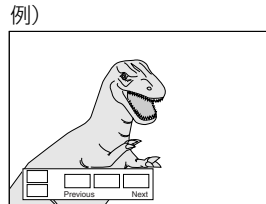
BD-V

通常の再生操作に加えて、いろいろな機能を楽しむことができます。

## ポップアップメニューの表示

ポップアップメニューはいくつかの BD ビデオで使用できる機能です。ディスクにより異なります。操作方法は、ディスクの説明書をご覧ください。

- 1 [POP-UP MENU] を押す
- 2 [▲, ▼, ◀, ▶] で項目を選び、  
[OK] を押す



ヒント

- [SUB MENU] を押してから「Pop-up Menu」を選んで表示させることもできます。
- 画面を消すには  
● [POP-UP MENU] を押す

## BONUSVIEW™(ボーナスビュー) 対応の BD ビデオを楽しむには

本機は、BD ビデオの新しい再生機能である BONUSVIEW™ (BD-ROM version 2 Profile 1 version 1.1/Final Standard Profile) に対応しています。

BONUSVIEW™ 対応ディスクでは、ディスクに記録された本編以外に、映画監督のコメントや同時進行のサブストーリーを再生したり、別アングル映像などの BD ビデオの副映像が楽しめます。

再生方法などはディスクによって決められており、ディスクによってさまざまです。ディスクに添付の説明書をご覧ください。

### 副映像を入 / 切する [PIP] を押す

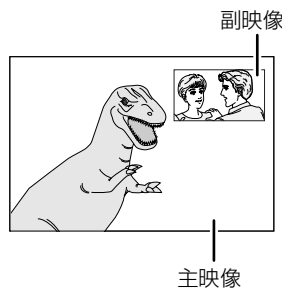
副映像が再生されます。

- 「PiP ON」が表示されます。
- ボタンを押すたびに切 / 入します。

### 副音声を入 / 切する [SECONDARY AUDIO] を押す

副音声が再生されます。

- 「Secondary Audio ON」が表示されます。
- ボタンを押すたびに切 / 入します。

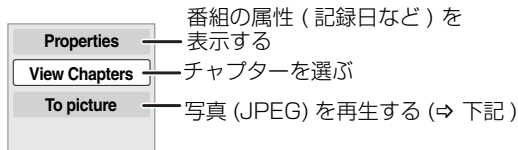


お知らせ

- 早送り・早戻し / スロー再生またはコマ送り・コマ戻し中は、主映像のみ再生されます。
- BD ビデオの規格には、SD カードなどと連携して楽しむ機能があり、このようなディスクが今後発売される可能性があります。その場合は、ディスクに添付の説明書をよくご覧ください。(2008年4月現在)  
上記のようなディスクをお使いになったあと、SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合は、データを消去することができます。  
18 ページ「FUNCTIONS メニューを表示する」の手順 ② で「Other Functions」を選び、「Card Management」を選んでください。そのあと、「BD-Video Data Erase」または「Format SD Card」を選んでください。  
カードをフォーマット、またはデータを消去したあとは元に戻すことはできません。  
他の機器で記録し、プロテクトされたデータも消去されます。  
カードをフォーマットできるか、確認してください。

# チャプター再生 DVD-VR

- 1 ディスクを入れる (⇒ 12)
- 2 「Title View」画面を表示中に  
[▲, ▼] でタイトルを選び、[SUB MENU] を押す



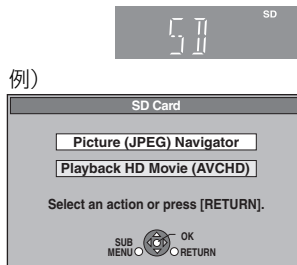
- 3 [▲, ▼] で「View Chapters」を選び、[OK] を押す
- 4 [◀, ▶] でチャプターを選び、[OK] を押す

# 写真 (JPEG) を再生する JPEG

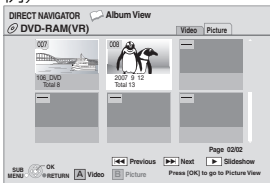
本機は、BD-RE、DVD-RAM、CD-R/RW および SD カードに記録した JPEG を再生できます。

- 1 ディスク (⇒ 12) または SD カードを入れる (⇒ 右記)

- 異なるフォーマットが入ったディスクまたは SD カードを入れると、ファイル選択メニューが表示されます。  
SD カード:  
[▲, ▼] で「Picture (JPEG) Navigator」を選び、[OK] を押す  
CD-R/RW:  
[▲, ▼] で「Pictures」を選び、[OK] を押す

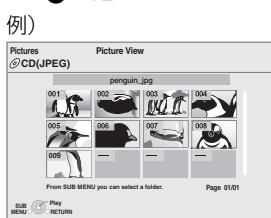


**BD-RE、DVD-RAM**  
「Album View」画面が表示される例)

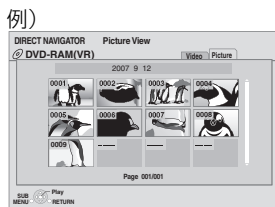


- 「Title View」画面が表示されている場合は、[B] ボタンを押して「Album View」画面に切り換えます。

**CD-R/RW、SD カード**  
「Picture View」画面が表示される ⇒ 3 に進む例)

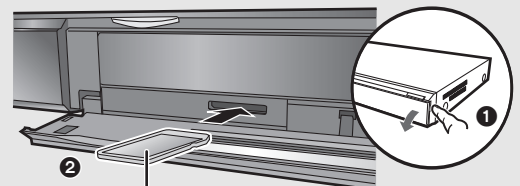


- 2 [▲, ▼, ▶, ◀] でアルバムを選び、[OK] を押す



- 3 [▲, ▼, ▶, ◀] で写真 (JPEG) を選び、[OK] を押す

## カードの挿入



ラベル面を上にして差し込んでください。

- 1 前面とびらを開く
- 2 SD カードスロットに、SD カードを差し込む  
・カードの中央を押し、カチッと音がする位置まで差し込んでください。

## カードの取り出し

カードの中央部を押し、まっすぐカードを引き出してください。



ヒント

- 前後の写真 (JPEG) を表示するには、[◀, ▶] を押してください。
- 別のページを表示するには、[◀◀, ▶▶] を押してください。

## 前の画面に戻るには

[RETURN] を押す

## 画面を消すには

[DIRECT NAVIGATOR] を押す

## CD-R/RW

異なったフォーマットのデータが記録されている場合

MP3 メニューから JPEG メニューに切り換え、下記の手順を実行してください。

- 1 [FUNCTIONS] を押す
- 2 [▲, ▼] で「Menu」を選び、[OK] を押す
- 3 [▲, ▼] で「Pictures」を選び、[OK] を押す



お知らせ

- 小さいサイズの写真 (JPEG) はフレームの中に表示されます。



## 写真 (JPEG) 再生時の便利な機能

### スライドショーの再生

一定の時間間隔で 1 枚ずつ写真 (JPEG) を表示できます。

#### BD-RE、DVD-RAM

- ① 「Album View」画面を表示中に  
[▲, ▼, ◀, ▶] でアルバムを選び、[SUB MENU] を押す
  - ② [▲, ▼] で「Start Slideshow」を選び、[OK] を押す
- スライドショーは、アルバムを選んだあとで [▶] (PLAY) を押して開始することもできます。

#### CD-R/RW、SD カード

- ① 「Picture View」画面を表示中に  
[SUB MENU] を押す
- ② [▲, ▼] で「Start Slideshow」を選び、[OK] を押す

スライドショーを停止するには

[■] を押す

### スライドショー再生中に音楽を聴く

#### SD カードのみ

スライドショー再生中に音楽 CD をディスクトレイに入れると、BGM として自動的に音楽 CD が再生されます。

- 音楽 CD の早送り・早戻しおよびスキップはできません。
- スライドショーを停止すると、音楽 CD も停止します。

### スライドショーの設定

上記の「スライドショーの再生」、手順 ② のあとで

- ① [▲, ▼] で「Slideshow settings」を選び、[OK] を押す
  - ② 表示間隔を変更するには  
[▲, ▼] で「Display Interval」を選び、[◀, ▶] で間隔を選ぶ  
(「Long」、「Normal」または「Short」)  
・大きな画素数の JPEG を再生すると、表示間隔が長くなる  
ことがあります。設定を変更しても、表示間隔は短くなりません。
- スライドショーを繰り返すには
- ③ [▲, ▼] で「Repeat Play」を選び、[◀, ▶] で「On」または「Off」を選んでください。
- ③ [▲, ▼, ◀, ▶] で「Set」を選び、[OK] を押す

### 写真 (JPEG) を回転する

- ① 再生中に (スライドショーを除く)  
[SUB MENU] を押す
  - ② [▲, ▼] で「Rotate Right」または「Rotate Left」を選び、  
[OK] を押す
- 本機の電源を切る、またはメディアを取り出すまでは、写真 (JPEG) の回転情報は保持されます。

### 写真 (JPEG) を縮小する

この機能は、小さいサイズの写真 (JPEG) のみ使用できます。

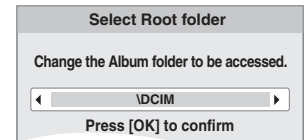
- ① 再生中に (スライドショーを除く)  
[SUB MENU] を押す
  - ② [▲, ▼] で「Zoom out」を選び、[OK] を押す
- 「Zoom out」を取り消すには、手順 ② で [▲, ▼] を押し、「Zoom in」を選び、[OK] を押す。
  - 縮小の情報は保持されません。

### 別のフォルダにある写真 (JPEG) を選ぶ

#### BD-RE、DVD-RAM

上位のフォルダに切り換えるには (上位フォルダに写真 (JPEG) を含むフォルダが複数ある場合のみ)

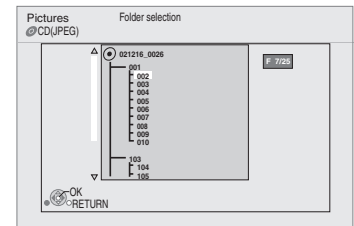
- ① 「Album View」画面を表示中に  
[SUB MENU] を押す
- ② [▲, ▼] で「Select Root folder」を選び、[OK] を押す



- ③ [◀, ▶] で上位フォルダを選び、[OK] を押す

#### CD-R/RW

- ① 「Picture View」画面を表示中に  
[SUB MENU] を押す
- ② [▲, ▼] で「Select Folder」を選び、[OK] を押す
- ③ [▲, ▼] でフォルダを選び、[OK] を押す  
選んだフォルダの「Picture View」画面が表示されます。



### 写真 (JPEG) 情報の表示

再生中に  
[STATUS] を 2 回押す

例) DVD-RAM に記録した JPEG  
撮影日

Folder - picture No.	102 - 0001
Photo 11/12/2007	Total 3/9

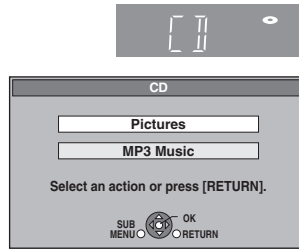
表示を消すには [STATUS] を押す

# 音楽の再生 CD MP3

本機では、音楽 CD や CD-R/RW に記録した MP3 を再生できます。

## ① ディスクを入れる (⇒ 12)

- 異なるフォーマットが入ったディスクを入れると、ファイル選択メニューが表示されます。[▲, ▼] で「MP3 Music」を選び、[OK] を押してください。



ヒント

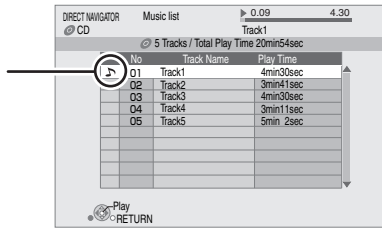
- 異なるフォーマットのデータが記録されている場合、JPEG メニューから MP3 メニューに切り換えるには、下記の手順を実行してください。
  - [FUNCTIONS] を押す
  - [▲, ▼] で「Menu」を選び、[OK] を押す
  - [▲, ▼] で「MP3 Music」を選び、[OK] を押す

## ② [▲, ▼] で曲を選び、[OK] を押す

選んだ曲から再生を開始します。

例) CD

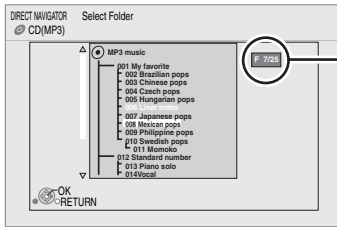
「」は現在再生中の曲を示しています。



- 早送り・早戻しまたは、スキップ機能も使用できます。(⇒ 13)
- 初期設定「Screen Saver Function」が「On」の場合、10分以上操作を行わないと、スクリーンセーバー画面に切り換わります。(再生は続きます)

## MP3 別のフォルダの曲を再生する

- 「Music list」画面を表示中に [SUB MENU] を押し、[▲, ▼] で「Select Folder」を選び、[OK] を押す



選んだフォルダ番号 / 総フォルダ数  
フォルダに曲が含まれていない場合、  
フォルダ番号は「--」と表示されます。

- [▲, ▼] でフォルダを選び、[OK] を押す  
選んだフォルダの「Music list」が表示されます。



お知らせ

- 再生できるMP3が入っていないフォルダは選べません。



ヒント

- 前の画面に戻るには [RETURN] を押す

# FUNCTIONS メニューを表示する

FUNCTIONS メニューから操作できる機能があります。

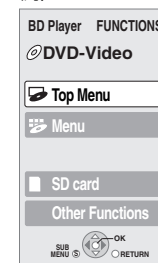
## ① [FUNCTIONS] を押す

- メディアによって表示される項目は、異なります。

## ② [▲, ▼] で項目を選び、[OK] を押す

- Top Menu
- Menu
- Playback
- SD card : SD ドライブに切り換える
- BD/DVD/CD : ディスクドライブに切り換える
- Other Functions : 「Setup」(⇒ 22)  
「Card Management」(⇒ 15)  
「Playlists」:  
プレイリストを選んで再生します (DVD-VR のみ)  
[▲, ▼, ◀, ▶] でプレイリストを選び、[OK] を押す

例)



# HDAVI Control™ を使う

## HDAVI Controlとは

本機と HDMI ケーブル（別売）を使って接続した HDAVI Control 対応機器を自動的に連動させて、リモコン 1 つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

※すべての操作ができるものではありません。

●HDAVI Control は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。

●当社製 HDMI ケーブルをおすすめします。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

品番：

RP-CDHG10 (1.0 m)、RP-CDHG15 (1.5 m)、RP-CDHG20 (2.0 m)、RP-CDHG30 (3.0 m)、RP-CDHG50 (5.0 m) など

## 準備

- ① 本機と HDAVI Control に対応した当社製テレビ（ビエラ）またはアンプを HDMI ケーブルで接続する（⇒ 6～7）
- ② 「HDAVI Control」を「On」にする（⇒ 24）  
（お買い上げ時の設定は「Off」です）
- ③ 接続した機器側（テレビなど）で、HDAVI Control が動作するように設定する  
・テレビの HDMI 2 端子で HDAVI Control を使う場合、テレビ側で入力チャンネルを「HDMI 2」に設定してください。
- ④ すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を HDMI 入力に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する（接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください）

操作

## HDAVI Control のいろいろな機能

### 自動入力切り換え / テレビ電源「入」

下記の操作を行うと、テレビの入力チャンネルが自動的に切り換わり、それぞれの画面が表示されます。

- ・本機で再生を開始したとき
- ・メニュー画面が表示される操作を行ったとき  
（[DIRECT NAVIGATOR] を押したときなど）

テレビの電源が待機状態のときに上記の操作を行うと、テレビの電源も自動的に「入」になり、それぞれの画面が表示されます。

### 自動的に本機の電源を切る

テレビの電源を「切」にすると、接続されている HDAVI Control 対応の機器は本機を含めすべて自動的に電源が「切」になります。

- ・本機が再生中または別の操作を行っているときであっても、自動的に電源が「切」になります。



お知らせ

- 本機の [▶] (PLAY) を押して再生を始めた場合、テレビの電源が自動的に「入」になりますが、テレビ画面が表示されるまで、再生した番組の先頭部分が見られない場合があります。その場合は、[◀◀] または [◀◀] を押して再生開始位置まで戻ってください。

### ■ テレビの電源は入れたまま、本機の電源のみ切るには

本機のリモコン [⏻ BD POWER] を押して、本機の電源を切る

### ■ HDAVI Control を使わない場合は

初期設定「HDAVI Control」(⇒ 24) を「Off」にする

# GUI 画面を使って操作する

## GUI 画面の基本設定

- 1 [DISPLAY] を押す
- 2 [▲, ▼] でメニューを選び、[▶] を押す
- 3 [▲, ▼] で設定項目を選び、[▶] を押す
- 4 [▲, ▼] で設定内容を選ぶ

例) BD ビデオ



●本機の状態(再生中、停止中など)またはディスクによっては、選択・変更できない項目があります。



●[OK] を押して設定変更を実行するものもあります。  
設定を終了するには [DISPLAY] を押す

## GUI 設定一覧

メニュー	設定項目	設定内容
Disc	Signal Type	<b>BD-V</b> ●Primary Video Video: 映像の記録方法が表示されます (⇒ 下記、映像コーデック) Soundtrack: 音声や言語の種類を選びます (⇒ 下記、言語、音声属性) ●Secondary Video Video: 映像の切/入を選びます 映像の記録方法が表示されます (⇒ 下記、映像コーデック) Soundtrack: 音声や言語の切/入を選びます (⇒ 下記、言語、音声属性)
	Video	<b>AVCHD</b> 映像の記録方法が表示されます (⇒ 下記、映像コーデック)
	Soundtrack	<b>AVCHD DVD-V</b> 音声や言語の種類を選びます (⇒ 下記、言語、音声属性) <b>BD-AV AVCREC DVD-VR</b> 音声属性が表示されます (⇒ 下記、音声属性)
	Subtitle	<b>BD-V AVCHD DVD-V</b> 字幕表示の切/入や、言語を選びます (⇒ 下記、言語) <b>BD-AV AVCREC DVD-VR</b> (字幕の入/切情報が記録されたディスクのみ) 字幕表示の切/入を選びます
	Subtitle Style	<b>BD-V</b> ディスクに記録されている字幕スタイルを選びます
	Audio channel	<b>BD-AV AVCREC DVD-VR</b> (⇒ 13、再生中に音声を切り換える)
	Angle	<b>BD-V DVD-V</b> アングルを選びます

ディスクの特定のメニューでしか変更できないものもあります。(⇒ 12、15)

言語		
ENG: 英語	DAN: デンマーク語	THA: タイ語
FRA: フランス語	POR: ポルトガル語	POL: ポーランド語
DEU: ドイツ語	RUS: ロシア語	CES: チェコ語
ITA: イタリア語	JPN: 日本語	SLK: スロバキア語
ESP: スペイン語	CHI: 中国語	HUN: ハンガリー語
NLD: オランダ語	KOR: 韓国語	FIN: フィンランド語
SVE: スウェーデン語	MAL: マレーシア語	*: その他
NOR: ノルウェー語	VIE: ベトナム語	

音声属性	
LPCM/□□Digital/□□Digital+/ □□TrueHD/DTS/DTS-HD	信号タイプ
ch(channel)	チャンネル数
k (kHz)	サンプリング周波数
b (bit)	ビット数

## 映像コーデック

MPEG-2	カラー動画を効率よく圧縮、展開する規格で DVD などに使われます。
MPEG-4 AVC VC-1	カラー動画を効率よく圧縮、展開する規格で Blu-ray ディスク などハイビジョン映像の録画に使われます。

メニュー	設定項目	設定内容
Play	Repeat Play	(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ) リピート再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●All tracks: すべての曲</li> <li>●Chapter: チャプター</li> <li>●Playlists: プレイリスト</li> <li>●Title: タイトル</li> <li>●One track: 選んだ曲のみ</li> <li>●Off</li> </ul> 取り消すには、「Off」を選んでください。
	Random	<b>CD MP3</b> 再生中に、[▲, ▼] で「On」を選んでください。 次の曲から順不同に再生されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●On</li> <li>●Off</li> </ul>
Video	Picture	<b>BD-V BD-AV AVCREC AVCHD DVD-VR DVD-V</b> 再生時の画質を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●Normal: 標準</li> <li>●Soft: ざらつきの少ない柔らかな画質</li> <li>●Fine: 輪郭の強調されたくっきりした画質</li> <li>●Cinema: 映画鑑賞向け</li> <li>●User: さらに画質を調整 (⇒ 下記)</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>① [▶] で「Picture Adjustment」を選び、[OK] を押す</li> <li>② [▲, ▼] で項目を選び、[◀, ▶] で調整する <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Contrast: 白黒の強弱 (-7 ~ +7)</li> <li>・ Brightness: 画面全体の明るさ (0 ~ +15)</li> <li>・ Sharpness: 鮮やかさ (-6 ~ +6)</li> <li>・ Color: 色の濃さ (-7 ~ +7)</li> <li>・ Gamma: 暗く見えにくい映像の輪郭 (0 ~ +5)</li> <li>・ 3D NR: 背景部分に現れるノイズを除去し、奥行き感を出す (0 ~ +4) 「BD-Video 24p Output」を「On」に設定時は、働きません。(⇒ 24)</li> <li>・ Integrated NR: モザイク状のノイズや、周囲とのコントラストがはっきりした部分に見られるもやのようなノイズを除去 (0 ~ +3)</li> </ul> </li> </ol>
	Progressive	映像が左右に引き伸ばされる場合「Off」にしてください。 [「Component Video Resolution」で「480p」を選んでいる場合のみ (⇒ 24)] <ul style="list-style-type: none"> <li>●テレビの種類によっては、プログレッシブで出力された映像が左右に引き伸ばされることがあります。その場合は「Off」を選んでください。映像は 480i で出力されません。</li> <li>●HDMI ケーブルで接続し、「HDMI Video Mode」を「On」に設定時 (⇒ 24)、「Progressive」出力は「On」に固定されます。</li> </ul>
	Transfer	[「Progressive」(⇒ 上記) が「On」の場合のみ] プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。(⇒ 37、フィルム/ビデオ素材) <ul style="list-style-type: none"> <li>●Auto (標準): フィルム素材とビデオ素材を自動で認識し、適切に変換します</li> <li>●Video: 「Auto」でぶれが生じるとき</li> </ul>
	Sound Effects*	<b>Re-master (⇒ 13)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●Re-master 1</li> <li>●Re-master 2</li> <li>●Re-master 3</li> <li>●Off</li> </ul> <b>V. Surround</b> <b>BD-V BD-AV AVCREC AVCHD DVD-VR DVD-V (2チャンネル以上)</b> フロントスピーカー (左/右) だけで音の臨場感を出します。 - 音声がひずむ場合、「Off」にしてください。 - 接続した機器のサラウンド機能は「Off」にしてください。 - 二重音声には働きません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●V. Surround 1</li> <li>●V. Surround 2</li> <li>●Off</li> </ul>
	Dialog Enhancer*	<b>BD-V BD-AV AVCREC AVCHD DVD-VR DVD-V</b> (センターチャンネルを含めて3チャンネル以上の音声のみ) センターチャンネルの音量を大きくして、セリフを聞き取りやすくします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●On</li> <li>●Off</li> </ul>

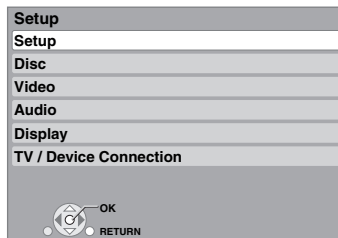
\* HDMI 出力やデジタル音声出力は、初期設定「Digital Audio Output」が「PCM」の場合のみ働きます。(ただし、デジタル音声出力端子に接続時は、2チャンネルの音声になります)

# 本機の設定を変える（初期設定）

必要に応じて設定を変更してください。設定内容は、本機の電源を切っても保持されています。

## 初期設定の基本操作

- 1 停止中  
[SETUP] を押す
- 2 [▲, ▼] でタブを選び、[OK] を押す
- 3 [▲, ▼] で設定項目を選び、[OK] を押す  
他の項目がある場合は、この手順を繰り返してください。
- 4 [▲, ▼, ◀, ▶] で設定内容を選び、[OK] を押す



●操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。



前の画面に戻るには [RETURN] を押す  
画面を消すには [SETUP] を押す

## 初期設定一覧

下線部はお買い上げ時の設定です。

### 「Setup」タブ

Off Timer 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。	●2 Hours: 2時間後 ●6 Hours: 6時間後 ●Off
Remote Control Code (⇒ 34)	●Set Code 1 ●Set Code 2 ●Set Code 3
Easy Setting 本機の基本的な設定を行います。(「On-screen Language」, 「TV Aspect」)	●Yes ●No
Auto Power On	●On: 電源コードを接続すると自動で電源が「入」になります。 ●Off
Auto Play BD-V BD-AV AVCREC AVCHD DVD-V DVD-VR ●この機能は、BD または DVD 再生時のみ有効です。	●On: 電源が「入」になると挿入されているディスクの再生を自動で開始します。 ●Off: 電源が「入」になっても自動で再生は開始しません。
Title Repeat BD-V BD-AV AVCREC AVCHD DVD-V DVD-VR ●この機能は、BD または DVD 再生時のみ有効です。	●On: 再生中のタイトルをリピート再生します。 ●Off
Restore Default Settings 本機をお買い上げ時の設定に戻します。ただし、「Remote Control Code」, 「On-screen Language」, 「DVD-Video Ratings」, 「BD-Video Ratings」は初期値には戻りません。	●Yes ●No

### 「Disc」タブ

DVD-Video Ratings DVDビデオの視聴制限ができます。	暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って数字ボタンで暗証番号（4けた）を入力してください。「DVD-Video Ratings」と「BD-Video Ratings」共通の暗証番号になります。 ●暗証番号は忘れないでください。	●8 No Limit: すべてのディスクが視聴可 ●1 to 7: 制限レベルの記録されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可 ●0 Lock All: すべてのディスクが視聴不可
BD-Video Ratings 年齢制限された BD ビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。		●Unlock Player: ロック解除 ●Change Password: 暗証番号変更 ●Change Level: レベル変更 ●Temporary Unlock: 一時解除
Audio Language 音声、字幕とディスクメニューで表示される言語を選びます。	BD-V DVD-V	●No Limit: すべてのディスクが視聴可 ●0 to 254 year(s): 年齢制限の記録されている BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可
Subtitle Language	●設定にかかわらず、指定された言語で再生するディスクもあります。 ●選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えられるものもあります。(⇒ 13、15) ●「Other ****」を選んだ場合、数字ボタンで言語番号 (⇒ 36) を入力してください。	●Unlock Player: ロック解除 ●Change Password: 暗証番号変更 ●Change Level: 視聴可能年齢変更 ●Temporary Unlock: 一時解除
Menu Language		●English ●French ●Spanish ●Original: ディスクの最優先言語で再生 ●Other ****
		●Automatic: 「Audio Language」で選んだ言語で音声再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ●English ●French ●Spanish ●Other ****
		●English ●French ●Spanish ●Other ****

## 「Video」タブ

<b>Still Mode (paused video)</b> <b>BD-V</b> <b>AVCHD</b> <b>DVD-V</b> 一時停止中の画像の表示方法が選べます。 (⇒ 37、フレーム/フィールド)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Auto</li> <li>●Field: 動きのある映像や「Auto」選択時にぶれが生じるとき</li> <li>●Frame:「Auto」選択時に細かい絵柄などが見えにくいとき</li> </ul>
<b>Seamless Play</b> <b>DVD-VR</b> 番組と番組のつなぎ目などを再生する状態が選べます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●On: なめらかに再生 (早送り中やチャプターの音声が異なる場合は動きません。また、位置がずれることがあります。)</li> <li>●Off: 精度よく再生 (つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります)</li> </ul>

## 「Audio」タブ

<b>Dynamic Range Compression</b> <b>BD-V</b> <b>BD-AV</b> <b>AVCREC</b> <b>AVCHD</b> <b>DVD-V</b> (Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHDのみ) 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。(⇒ 37)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●On</li> <li>●Off</li> </ul>
<b>Digital Audio Output</b> ●[OK] を押して下記の設定を行ってください。	
<b>Dolby Digital</b> それぞれの音声を Bitstream 出力するか PCM 出力するかを設定します。 <b>お知らせ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Bitstream: それぞれのデコーダーを搭載した機器と接続する場合に選んでください。Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio を Bitstream 出力するには、HDMI Ver.1.3 対応のアンプと High Speed HDMI ケーブルで接続してください。</li> <li>●PCM: それぞれのデコーダーを搭載していない機器と接続する場合に選んでください。</li> </ul> 接続機器がデコーダーを搭載しているかについては、それぞれの機器の説明書をご覧ください。
<b>Dolby Digital Plus/TrueHD</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーが破損する恐れがあります。</li> <li>●HDMI 映像・音声出力端子で接続時、接続機器が対応していない項目が選ばれると、接続機器の仕様により設定どおり出力されない場合があります。(例: テレビと HDMI で接続した場合、本機の HDMI 音声出力はダウンミックス 2 に制限されます)</li> </ul>
<b>DTS</b>	
<b>DTS-HD</b>	
<b>BD-Video Secondary Audio</b> <b>BD-V</b> メニュー画面などで使われる操作音と <b>BONUS VIEW™</b> で使われる副音声 (⇒ 15) の切/入を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●On: 主音声と副音声をミックスして出力します。サンプリング周波数は 48 kHz に変換されます。</li> <li>●Off: 操作音・副音声は出力されません。</li> </ul>
<b>PCM Down Conversion</b> ●サンプリング周波数 96 kHz で収録された音声の出力を選びます。 ●以下の場合、設定にかかわらず 48 kHz に変換されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- サンプリング周波数が 96 kHz 以上の信号のとき</li> <li>- ディスクに著作権保護処理がされているとき</li> <li>- 「BD-Video Secondary Audio」が「On」に設定されているとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●On: 音声を 48 kHz に変換します。(96 kHz 非対応の機器と接続したときに選ぶ)</li> <li>●Off: 音声を 96 kHz で出力します。(96 kHz に対応した機器と接続したときに選ぶ)</li> </ul>

### お知らせ

#### Dolby Digital Plus/Dolby TrueHD、DTS-HD について

Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio 本来の音質で楽しむには、網の掛かった部分の設定をおすすめします。

「Digital Audio Output」の設定	接続端子	出力される音声
<ul style="list-style-type: none"> <li>●「Bitstream」に設定した場合</li> <li>●「BD-Video Secondary Audio」が「On」に設定された場合</li> </ul>	HDMI 映像・音声出力端子 デジタル音声出力端子	Dolby Digital <sup>*2</sup>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●「Bitstream」に設定した場合</li> <li>●「BD-Video Secondary Audio」が「Off」に設定された場合</li> </ul>	HDMI 映像・音声出力端子 <sup>*1</sup> デジタル音声出力端子	オリジナル音声 Dolby Digital または DTS Digital Surround (オリジナル音声に応じて変わります)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●「PCM」に設定した場合</li> <li>●「BD-Video Secondary Audio」が「On」または「Off」どちらに設定された場合</li> </ul>	HDMI 映像・音声出力端子 デジタル音声出力端子	ダウンミックス 5.1 チャンネル PCM ダウンミックス 2 チャンネル PCM

<sup>\*1</sup> 以下の場合、音声は Dolby Digital または DTS Digital Surround で出力されます。  
 -Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio それぞれのデコーダーを搭載していない機器と接続した場合  
 -複数の機器に HDMI 接続し、機器側に制約がある場合

<sup>\*2</sup> 副音声や操作音の記録されていない BD ビデオ再生中は「BD-Video Secondary Audio」を「Off」に設定した場合と同じフォーマットの音声を出力できます。

#### 7.1 チャンネル LPCM 音声について

7.1 チャンネル LPCM の本来の音質で楽しむには、下記の設定をおすすめします。

- ①HDMI 映像・音声出力端子で接続する。<sup>\*3</sup>
- ②「BD-Video Secondary Audio」を「Off」に設定する。(「On」に設定していると、HDMI 映像・音声出力端子からは、5.1 チャンネルにダウンミックスされた PCM 音声出力されます)
- <sup>\*3</sup> デジタル音声出力端子からは、「BD-Video Secondary Audio」の設定にかかわらず、2 チャンネルにダウンミックスされた PCM 音声出力されます。

# 本機の設定を変える（初期設定）（つづき）

## 「Display」タブ

<b>Status Messages</b> 操作時の表示をテレビ画面に自動で表示します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Automatic</li> <li>●Off</li> </ul>
<b>On-screen Language</b> 初期設定メニューやその他のメッセージの言語を選びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●English</li> <li>●Français</li> <li>●Español</li> </ul>
<b>Screen Saver Function</b> テレビ画面の焼き付きを低減するための設定です。 ●「On」に設定すると、黒帯部分を明るくします。 ●下記の接続・設定時のみ働きます。 -HDMI ケーブルで接続して、「HDMI Resolution」(⇒ 下記) が「480p」以外に設定されているとき -D 端子ピンケーブルまたはコンポーネントビデオケーブルで接続して「Component Video Resolution」(⇒ 下記) が「720p」または「1080i」に設定されているとき	<ul style="list-style-type: none"> <li>●On: 10 分以上操作を行わないと、画面の表示は自動的に変わります。 -Direct NavigatorまたはFUNCTIONSメニューが表示されている場合：スクリーンセーバー画面に戻る。 -CD または MP3 が再生されている場合：スクリーンセーバー画面に戻る。(再生は続きます) -JPEG が再生されている場合 (スライドショーを除く)：Direct Navigator 画面に戻る。</li> <li>●Off:</li> </ul>
<b>FL Display</b> 本体表示窓の明るさを調節します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Bright</li> <li>●Dim: 暗くなります。</li> <li>●Auto: 再生中は暗くなり、再生中以外は明るくなります。</li> </ul>
<b>SD Card LED Control</b> SD カードスロットの上にあるランプの点灯方法を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●On</li> <li>●Off</li> <li>●SD inserted: 電源「入」時に、SD カードを入れると点灯します。</li> </ul>
<b>License</b>	本機が使用しているソフトウェア情報を表示します。

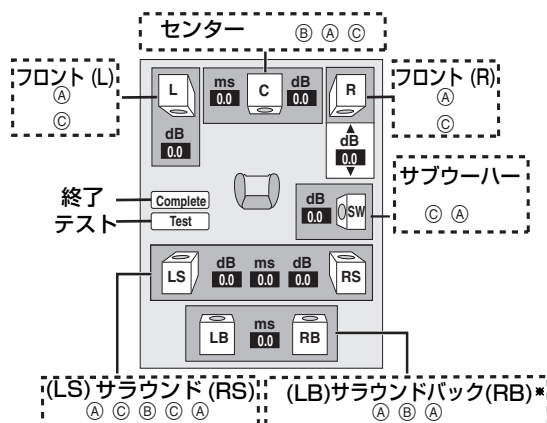
## 「TV/Device Connection」タブ

<b>TV Aspect</b> 接続したテレビに合わせて設定します。	<p><b>4 : 3 テレビに接続している場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●4:3 Pan &amp; Scan: ワイドスクリーン用の映像の左右が切られて再生されます。(パン &amp; スキャン再生ができないソフトもあります) BD ビデオの場合は、映像は「4:3 Letterbox」で再生されます。</li> <li>●4:3 Letterbox: ワイドスクリーン用の映像の上下に帯がついて再生されません。</li> </ul> <p><b>16 : 9 ワイド画面テレビに接続している場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●16:9: 4 : 3 テレビ用の映像が 4 : 3 の比率のまま画面中央に再生されます。</li> <li>●16:9 Full: 4 : 3 テレビ用の映像が左右に引き伸ばされて再生されます。</li> </ul>
<b>HDMI Connection</b> ●[OK] を押して、さらに設定します。	
<b>HDMI Video Mode</b> HDMI 映像・音声出力端子から映像を出力する場合は「On」を選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●On: HDMI 映像・音声出力端子から、「HDMI Resolution」で設定された解像度の映像が出力されます。(コンポーネント映像端子からは、480i 映像が出力されます)</li> <li>●Off 「Component Video Resolution」で設定された解像度の映像が出力されます。</li> </ul>
<b>HDMI Resolution</b> 接続した機器が対応している項目には、画面上に「*」が表示されます。「*」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Auto: 接続した機器に適した解像度を自動で選びます。(1080p、1080i、720p または 480p)</li> <li>●480p</li> <li>●720p</li> <li>●1080i</li> <li>●1080p</li> </ul> <p>アンプと接続する場合、接続するアンプが、本機で設定した解像度に対応していないときは、正しく出力できません。その場合は、本機とテレビを HDMI ケーブルで接続し、アンプとは HDMI ケーブル以外で接続してください。</p>
<b>BD-Video 24p Output</b> 映画など 24p 記録された素材を 24p 出力します。 ●1080/24p に対応したテレビの HDMI 端子と接続したときのみ「On」にできます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●On: 24p 素材をそのまま 24p で出力 (「TV Aspect」を「16:9」または「16:9 Full」に設定し、「HDMI Resolution」を「Auto」または「1080p」に設定時に有効) 24p 出力時は、HDMI 映像・音声出力端子以外の端子からは正しく出力されないことがあります。24p 以外の素材は 60p で出力されます。</li> <li>●Off:</li> </ul>
<b>HDMI RGB Output Range</b> RGB 入力のみに対応した機器 (DVI 機器など) に接続したとき有効になります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Standard:</li> <li>●Enhanced: 映像の黒白が鮮明でないとき</li> </ul>
<b>HDMI Audio Output</b> 音声を HDMI 映像・音声出力端子から出力するかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●On:</li> <li>●Off: テレビと HDMI ケーブルで接続し、HDMI 非対応のアンプなどと光デジタルケーブルや同軸デジタルケーブルで接続するとき</li> </ul>
<b>HDAVI Control</b> HDAVI Control に対応した機器と HDMI ケーブルで接続したときに、連動操作の設定をします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●On HDAVI Control 機能を使うとき</li> <li>●Off: HDAVI Control 機能を使わないとき</li> </ul>
<b>Component Video Resolution</b> コンポーネント映像出力端子からの解像度を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●480i ●480p ●720p ●1080i</li> </ul> <p>DVD ビデオは、「720p」、「1080i」を選んでいても 480p で出力されます。</p>
<b>Speaker</b> スピーカーの出力設定により、理想的な音場をつくりまします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Multi Channel: スピーカーを 3 本以上接続時に選んでください。(⇒ 25)</li> <li>●2 Channel: スピーカーを 2 本接続時に選んでください。サラウンド音声は、2 チャンネルにダウンミックスされて、フロントチャンネル (左・右) から出力されます。</li> </ul>



## スピーカー設定

アンプと接続してサラウンド音声を楽しむ場合、アンプ側でスピーカー設定を行うことができないときに下記の設定を行ってください。初期設定「Digital Audio Output」の各項目を「PCM」にした場合のみ下記の設定が有効です。



サラウンドバックは、7.1 チャンネルに対応したアンプと HDMI ケーブルで接続した場合のみ有効です。

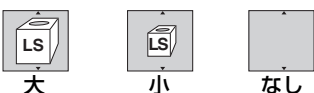
### スピーカーの有無とサイズ (A)

- 1 [▲, ▼, ◀, ▶] でスピーカーのアイコン (A) を選び、[OK] を押す
- 2 [▲, ▼] で内容を変更し、[OK] を押す

#### サラウンド (LS) の場合の表示

例 スピーカーが 100 Hz 以下を

- 再生できるとき：大
- 再生できないとき：小



理想的な視聴環境を得るために、スピーカーサイズの設定は自動的に調整されます。

例えば、サブウーハーを「なし」に設定している場合、フロントスピーカーは自動的に「大」に設定されます (その場合、100 Hz 未満を再生できるフロントスピーカーを接続することをおすすめします)。

### ディレイタイム (B)

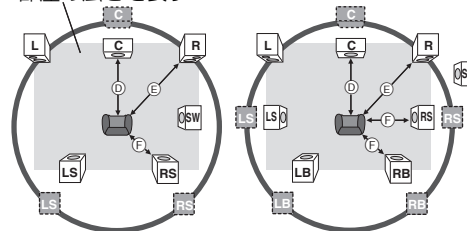
7.1/5.1 チャンネルサラウンドの視聴環境を最適なものにするためには、サブウーハー以外のすべてのスピーカーを下記のように円上に設置することをおすすめします。円上に設置できない場合でも、その距離の差に応じて遅延効果を設定することができます。

距離 (D) または (E) のいずれかが (B) よりも短い場合、下記の表を参考に設定を変更してください。

- 1 [▲, ▼, ◀, ▶] でディレイタイム (B) を選び、[OK] を押す
- 2 [▲, ▼] で内容を変更し、[OK] を押す

#### 5.1ch スピーカー接続時

部屋の広さを表す



この円上にスピーカーを配置するのが理想です

#### (D) センタースピーカー

距離の差	設定値
約 34 cm	1.0 ms
約 68 cm	2.0 ms
約 102 cm	3.0 ms
約 136 cm	4.0 ms
約 170 cm	5.0 ms

#### (E) サラウンド／サラウンドバックスピーカー

距離の差	設定値
約 170 cm	5.0 ms
約 340 cm	10.0 ms
約 510 cm	15.0 ms

### チャンネルバランス (C)

HDMI ケーブルで接続し、「HDMI Audio Output」(⇒ 24 「TV/Device Connection」タブ) を「On」に設定時は動きません。

- 1 「Test」を選び、[OK] を押す

テスト信号が出力されます。

フロント (L) → センター → フロント (R) → サラウンド (RS)

↑ サラウンド (LS) ← サラウンドバック (LB)\* ← サラウンドバック (RB)\*

\* HDMI 映像・音声出力端子で接続されている時のみテスト信号が出力されます。

- 2 テスト信号を聞き、[▲, ▼] でそれぞれのスピーカーの音量を調整する

フロントスピーカー：0.0 dB ～ 6.0 dB

センター、サラウンドスピーカー：0.0 dB ～ 12.0 dB

サラウンドバックスピーカーの設定はできません。

- 3 [OK] を押す

テスト信号が止まります。

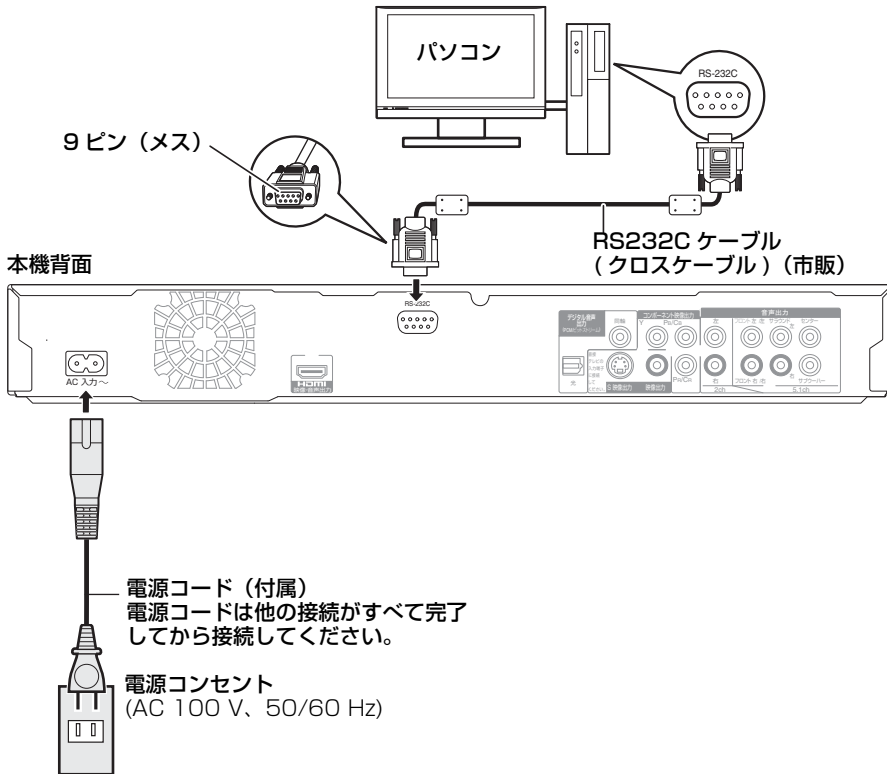
・サブウーハーからはテスト信号が出力されません。ディスクを再生し、音量を確認してから調整してください。

- 4 [▲, ▼, ◀, ▶] で「Complete」を選び、[OK] を押す

# パソコンと接続する

## RS232C ケーブルを使用してパソコンと接続する

本機は背面に9ピンD-Subのインターフェースコネクタがあります。RS232Cケーブルでパソコンと接続すると、パソコンで本機を制御することができます。

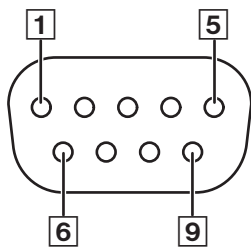


●パソコンとの接続には、クロスケーブルをお使いください。



●制御の際のコマンドについては、28ページ、「RS232C コマンド一覧」をご覧ください。

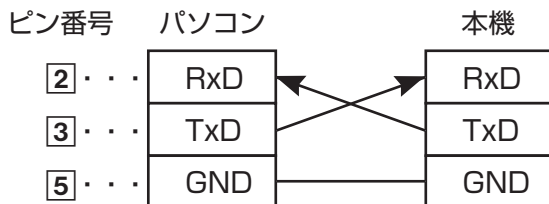
## RS232C インターフェース仕様



ピン番号	信号名	入出力方向	機能
1	DCD	IN	NC (何も接続されていません)
2	RxD	IN	受信データ
3	TxD	OUT	送信データ
4	DTR	OUT	NC (何も接続されていません)
5	GND	---	グラウンド
6	DSR	IN	NC (何も接続されていません)
7	RTS	OUT	内部で接続されています。
8	CTS	IN	
9	RI	IN	NC (何も接続されていません)

※本機では、RxD(2)、TxD(3)、GND(5)のみを使用します。

パソコンと本機は、下図のように接続・通信します。



●本機は、電源「入」状態であれば、常時コマンドを受け付けることができます。

## 通信条件

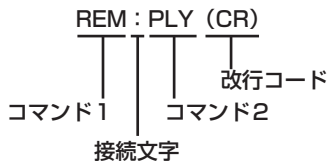
信号レベル	RS232C 準拠
同期レベル	調歩同期
ボーレート	38400 bps
パリティ	なし

キャラクター長	8ビット
ストップビット	1ビット
Xパラメーター	なし
Sパラメーター	なし

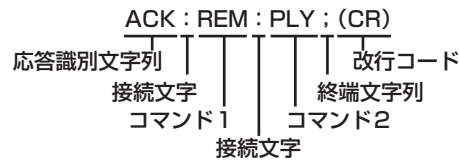
## シリアル・コマンド体系

### 例1) 再生させるとき

入力コマンド



応答シリアル



お知らせ

- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン(:)は必要ありません。

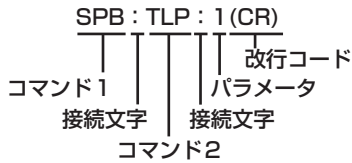


ヒント

- 誤ったコマンドを送信すると、本機から「ACK:ERR;」というシリアルがパソコン側に送信されます。
- コマンドに対してタイムアウトが発生した場合は、本機から「ACK:TMO;」というシリアルがパソコン側に送信されます。

### 例2) タイトルリピートさせるとき

入力コマンド



応答シリアル



# RS232C コマンド一覧

下記コマンド一覧にあるコマンドを使って、本機の制御ができます。

- 本機では、フレーム単位での制御はできません。タイトル/チャプター単位での制御になります。
- 本機で使用されるコマンドは、当社製以外の製品との互換性はありません。
- コマンドには、大文字のみを使用してください。小文字はコマンドとして認識できません。

## 通常コマンド (リモコンでの操作)

以下のコマンドを使用すると、リモコンを使うのと同じ操作ができます。

これらのコマンドは、BD/SD ドライブ、両方に使用できます。

- 通常のリモコン操作と同じ GUI が表示されます。

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	本機リモコンボタンとの関連
1	POWER	REM:POF	ACK:REM:POF;	[⏻ BD POWER] 電源「切」のみ可能です (電源「入」はできません)
2	1	REM:TK1	ACK:REM:TK1;	[1]
3	2	REM:TK2	ACK:REM:TK2;	[2]
4	3	REM:TK3	ACK:REM:TK3;	[3]
5	4	REM:TK4	ACK:REM:TK4;	[4]
6	5	REM:TK5	ACK:REM:TK5;	[5]
7	6	REM:TK6	ACK:REM:TK6;	[6]
8	7	REM:TK7	ACK:REM:TK7;	[7]
9	8	REM:TK8	ACK:REM:TK8;	[8]
10	9	REM:TK9	ACK:REM:TK9;	[9]
11	0	REM:TK0	ACK:REM:TK0;	[0]
12	CANCEL	REM:CEL	ACK:REM:CEL;	[CANCEL]
13	AUDIO	REM:AUD	ACK:REM:AUD;	[AUDIO]
14	RE-MASTER	REM:RMT	ACK:REM:RMT;	[RE-MASTER]
15	OPEN/CLOSE	REM:TRY	ACK:REM:TRY;	[▲ OPEN/CLOSE]
16	Forward SKIP	REM:FSK	ACK:REM:FSK;	[▶▶]
17	Reverse SKIP	REM:RSK	ACK:REM:RSK;	[◀◀]
18	Forward SEARCH	REM:FSR	ACK:REM:FSR;	[▶▶]
19	Reverse SEARCH	REM:RSR	ACK:REM:RSR;	[◀◀]
20	STOP	REM:STP	ACK:REM:STP;	[■]
21	PAUSE	REM:PUS	ACK:REM:PUS;	[⏸]
22	PLAY	REM:PLY	ACK:REM:PLY;	[▶] (PLAY)
23	STATUS	REM:STA	ACK:REM:STA;	[STATUS]
24	FUNCTION	REM:FUN	ACK:REM:FUN;	[FUNCTIONS]
25	POP-UP MENU	REM:POP	ACK:REM:POP;	[POP-UP MENU]
26	TOP MENU	REM:TOP	ACK:REM:TOP;	[TOP MENU]
27	DISPLAY	REM:DIS	ACK:REM:DIS;	[DISPLAY]
28	UP	REM:CUP	ACK:REM:CUP;	[▲]
29	DOWN	REM:CDW	ACK:REM:CDW;	[▼]
30	LEFT	REM:CLF	ACK:REM:CLF;	[◀]
31	RIGHT	REM:CRT	ACK:REM:CRT;	[▶]
32	OK	REM:ENT	ACK:REM:ENT;	[OK]
33	SUB MENU	REM:SUB	ACK:REM:SUB;	[SUB MENU]
34	RETURN	REM:RET	ACK:REM:RET;	[RETURN]
35	A	REM:RED	ACK:REM:RED;	[A]
36	B	REM:GRN	ACK:REM:GRN;	[B]
37	C	REM:BLU	ACK:REM:BLU;	[C]
38	D	REM:YLW	ACK:REM:YLW;	[D]
39	SETUP	REM:SET	ACK:REM:SET;	[SETUP]
40	PIP	REM:PIP	ACK:REM:PIP;	[PIP]
41	SECONDARY AUDIO	REM:2ND	ACK:REM:2ND;	[SECONDARY AUDIO]
42	BD/SD	REM:DRV	ACK:REM:DRV;	[BD/SD]

## 特殊コマンド

以下のコマンドでは、GUI は表示されません。  
これらのコマンドは、BD/DVD メディアでのみ使用できます。

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
1	再生メディア取得	QST:MDA	ACK:QST:MDA;	ドライブに挿入されたディスクの種類を出力します。 QST:MDA:*; ●「*」にはメディアごとに下記の番号が入ります。 01=CD-DA (CD) 02=DTS-CD 03=CD-R/RW (CD MP3 JPEG) 10=BD ビデオ (BD-V) 20=BD-RE (BD-V) 21=BD-RE DL (BD-V) 24=BD-R (BD-V) 25=BD-R DL (BD-V) 26=DVD-RAM (AVCHD) 27=DVD-R (AVCHD) 28=DVD-R DL (AVCHD) 29=DVD-RW (AVCHD) 30=BD-RE (BD-AV) 31=BD-RE DL (BD-AV) 34=BD-R (BD-AV) 35=BD-R DL (BD-AV) 36=DVD-RAM (AVCREC) 37=DVD-R (AVCREC) 38=DVD-R DL (AVCREC) 40=DVD ビデオ (DVD-V) 41=DVD ビデオ / オーディオ (DVD-V) 51=DVD-R (DVD-V) 52=DVD-R DL (DVD-V) 53=DVD-RW (DVD-V) 54=+R (DVD-V) 55=+R DL (DVD-V) 56=+RW (DVD-V) 60=DVD-RAM (DVD-VR) 61=DVD-R (DVD-VR) 62=DVD-R DL (DVD-VR) 63=DVD-RW (DVD-VR)
2	デッキモード取得	QST:MOD	ACK:QST:MOD;	再生、停止など本機の状態を出力します。 QST:MOD:*; ●「*」には本機の状態ごとに下記の番号が入ります。 02=トレイ・オープン 03=トレイ・クローズ 04=リード中 05=ナビ画面表示中 (レジューム無) 06=ナビ画面表示中 (レジューム有) 07=スクリーン・セーバー (レジューム無) 08=スクリーン・セーバー (レジューム有) 10=再生 11=一時停止 18=早送り 19=早戻し 1A=スロー再生 1B=スロー逆再生 1C=コマ戻し 20=リピート再生 21=プレイリスト再生 30=静止画 (JPEG) 再生 31=スライドショー再生 00=無効 FF=その他
3	再生タイトル取得	QST:TTL	ACK:QST:TTL;	再生中のタイトル番号を出力します。 QST:TTL:*(*)=(タイトル番号)
4	再生チャプター取得	QST:CHP	ACK:QST:CHP;	再生中のチャプター番号を出力します。 QST:CHP:*(*)=(チャプター番号)
5	記録モード取得	QST:REC	ACK:QST:REC;	BD-V (市販の BD ビデオを除く) BD-AV DVD-VR AVCREC QST:REC:*(*)=(下記、録画モード番号) 「*」には録画モードごとに下記の番号が入ります。 01=FR 02=EP(8時間) 03=EP(6時間) 04=LP 05=SP 06=XP 10=DR 11=HG 12=HX 13=HE 00=無効
6	再生時間取得	QST:TIM	ACK:QST:TIM;	再生中のコンテンツの再生時間を出力します。 QST:TIM:***:***: (***:***:*** = コマンドを受けたときの再生時間)
7	記録時間取得	QST:LGT	ACK:QST:LGT;	再生中のコンテンツの記録時間を出力します。 QST:LGT:***:***: (***:***:*** = 記録されている時間)

# RS232C コマンド一覧 (つづき)

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
8	全情報取得	QST:STA	ACK:QST:STA;	[STATUS] を押したときに表示されるすべての値をシリアルに出力します。 QST:MDA:*; (* = メディア番号、29 ページ「再生メディア取得」) QST:MOD:*; (* = デッキモード番号、29 ページ「デッキモード取得」) QST:TTL:*; (* = タイトル番号) QST:CHP:*; (* = チャプター番号) QST:REC:*; (* = 記録モード番号、29 ページ「記録モード取得」) QST:TIM:**:**:**; (*:**:** = コマンドを受けたときの再生時間) QST:LGT:**:**:**; (*:**:** = 記録されている時間)
9	再生タイトル指定	SPB:TTL:**	ACK:SPB:TTL:**;	「**」部分に再生したいタイトル番号を入力します。 BD-AV DVD-VR AVCREC: タイトル指定はできません。
10	再生チャプター指定	SPB:CHP:**	ACK:SPB:CHP:**;	「**」部分に再生したいチャプター番号を入力します。 BD-AV DVD-VR AVCREC: チャプター指定はできません。
11	タイトルリピート解除	SPB:TLP:0	ACK:SPB:TLP:0;	再生中のタイトルに対してリピートの設定を解除する。
12	タイトルリピート設定	SPB:TLP:1	ACK:SPB:TLP:1;	再生中のタイトルに対してリピートを設定する。
13	チャプターリピート解除	SPB:CLP:0	ACK:SPB:CLP:0;	再生中のチャプターに対してリピートの設定を解除する。
14	チャプターリピート設定	SPB:CLP:1	ACK:SPB:CLP:1;	再生中のチャプターに対してリピートを設定する。
15	AV ミュート解除	SAV:AVM:0	ACK:SAV:AVM:0;	映像・音声 (アナログ・HDMI) に対してミュートを解除する。
16	AV ミュート設定	SAV:AVM:1	ACK:SAV:AVM:1;	映像・音声 (アナログ・HDMI) に対してミュートを設定する。GUI 表示はミュートされません。

## Q&A (よくあるご質問)

### 設定

### ページ

マルチチャンネル音声を楽しむには、どのような機器が必要か？	●本機の HDMI 端子、デジタル音声出力端子 (同軸出力端子、光出力端子) または 5.1 ch 音声出力端子に適切なアンプを接続してください。	7、8
7.1 チャンネル音声を楽しむにはどのような設定が必要か？	●Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD、7.1 チャンネル LPCM 対応のアンプと HDMI ケーブルで接続し、下記の設定を行ってください。 -「Dolby Digital Plus/TrueHD」：「Bitstream」 -「DTS-HD」：「Bitstream」 -「BD-Video Secondary Audio」：「Off」 -「Speaker」：「Multi Channel」	23、24
本機にヘッドホンやスピーカーを直接接続できるか？	●本機に直接接続することはできません。アンプなどをとおして接続してください。	6、7、8
テレビに S 映像入力端子、コンポーネント映像入力端子、HDMI 映像・音声入力端子があるが、どの端子を使えばいいか？	●入力される映像の画質は下記の順になります。(高→低) HDMI 映像・音声入力端子→コンポーネント映像入力端子→S 映像入力端子→映像入力端子 ただし、HDMI 映像・音声入力端子に接続した場合、映像の出力開始に他の端子から出力する場合よりも時間がかかります。	—

### ディスク

海外で買った BD ビデオ、DVD ビデオは再生できるか？	●映像方式が NTSC であれば再生できます。ただし、BD ビデオはリージョンコード「A」を含んでいない場合は、DVD ビデオはリージョン番号が「ALL」もしくは「2」を含んでいない場合は再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	表紙
リージョンコードやリージョン番号がない BD ビデオ、DVD ビデオは再生できるか？	●リージョンコード / 番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。リージョンコード / 番号がない (規格を満たしていない) 場合は再生できません。	—

### SD カード


本機の SD カードスロットでどのような操作ができるか？	●以下の操作が可能です。 - デジタルカメラなどで記録した JPEG データの再生 - 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで録画した動画 (AVCHD) の再生	—
どのようなカードが使用できるか？	●SD メモリーカード (8 MB ~ 2 GB)、SDHC メモリーカード (4 GB ~ 16 GB)、miniSD カード、microSD カード* が使用できます。 * miniSD カード、microSD カードをご使用の際は、アダプターを取り付けてください。	4

# こんな表示が出たら

起動時や操作中に異常が起こった場合、テレビ画面または本体表示窓に以下のメッセージやサービス番号が表示されます。

テレビ画面		ページ
Cannot play.	●非対応のディスク（映像方式が異なるディスクなど）が入っています。	4、5
Cannot display on this unit.	●非対応の画像を再生しようとしています。 ●本体表示窓の「SD」が点滅していないことを確認して、カードを入れ直してください。	5 —
No disc	●ディスクが裏返しになっていませんか。	—
⊙ This operation is currently disabled.	●ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。	—

## 本体表示窓

F99	●本機が正常に動作しません。本体の [POWER ㊦/I] を3秒間押し、電源を切ってください。そのあと、もう一度 [POWER ㊦/I] を押し、電源を入れてください。	—
HDMI ONLY	●BD ビデオの種類によっては HDMI 映像・音声出力端子からのみ出力可能なものがあります。	—
LOCK	●ディスクトレイがオープン禁止（ロックモード）になっています。下記の操作でロックモードを解除してください。 本体の [▶▶I/▶▶] と [▲ OPEN/CLOSE] を同時に5秒以上押し続ける	14
No PLAY	●BD ビデオまたは DVD ビデオで視聴制限がかかっています。	22
No READ	●ディスクに汚れや傷がついているため、再生できません。	—
PLEASE WAIT	●終了処理中です。「BYE」が表示されたあと、電源が切れます。 ●復旧動作中に表示されます。「PLEASE WAIT」表示中は、本機を操作することはできません。	— —
SET □ (□は数字)	●本体とリモコンのリモコンコードが違います。リモコンコードを合わせてください。 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[OK] を5秒以上押し続けます。 	34
UNFORMAT	●下記のディスクが入っていませんか。 フォーマットしていない DVD-RAM、DVD-RW、+RW、または未使用の +R、+R DL、DVD-RW (DVD ビデオ規格)	—
UNSUPPORT	●本機で再生できないディスクが入っています。	4、5
U59	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。 表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。	9
U72 U73	●HDMI接続時に異常が発生しました。 -接続機器がHDMIに対応していません。 -HDMIロゴの付いたケーブルをお使いください。 -HDMIケーブルが破損しています。	—
H□□ または F□□	●異常が発生しました。「[H]」または「[F]」以降の数字は、本機の状態によって変わります。 ●まず「故障かな!？」をお読みになってください。サービス番号が消えない場合は下記の操作を行ってください。 1 電源コードを抜き、数秒後に接続する 2 [POWER ㊦/I] を押し、本機の電源を入れる（これで直る場合があります） 上記の操作を行ってもサービス番号が消えない場合は、販売店へ修理を依頼してください。	— 32 ~ 34

# 故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。  
それでも直らないときや、症状が載っていないときは販売店にご連絡ください。

次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音がする。
- 早送り・早戻しすると映像が乱れる。

## 本機をリセットする

ページ

安全装置の作動によりフリーズした状態から元に戻すには？	●本体の [POWER ㊦/⏻] を 3 秒押し続けてください。(設定は変わりません)	—
基本設定以外の設定をお買い上げ時の設定に戻すには？	●初期設定「Restore Default Settings」で「Yes」を選んでください。「Remote Control Code」、「On-screen Language」、「DVD-Video Ratings」、「BD-Video Ratings」を除いた初期設定および GUI 画面のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻ります。	22
お買い上げ時の設定に戻すには？	●下記の操作で本機をお買い上げ時の状態に戻してください。 1 本機の [POWER ㊦/⏻] を押し、電源を切る 2 本機の [▶▶/▶▶]、[▲ OPEN/CLOSE] と [■] を、同時に本体表示窓に「HELLO」が表示されるまで押す (約5秒間) 3 本機の電源が自動で切れ、それから自動で電源が入ります	—

## 電源

電源が入らない	●電源コードをコンセントにしっかりと差し込んでください。	9
勝手に電源が切れる	●節電機能が働きました。初期設定「Off Timer」で変更することができます。 ●各種安全装置が働いていることがあります。本体の [POWER ㊦/⏻] を押し、電源を入れてください。	22 —

## 操作

テレビ、アンプが操作できない	●リモコンのメーカーコードを変更してください。メーカーコードを変更してもテレビ・アンプの種類によってはリモコンが動かない場合があります。 ●テレビのメーカーコードが異なっていませんか。電池を交換すると、メーカーコードを合わせ直す必要がある場合があります。	11 11
リモコンが働かない	●本機とリモコンのリモコンコードが異なっていませんか。 リモコン側のコードを変更してください。 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[OK]を5秒以上押し続けたままにしてください。 ●電池が入っていますか。電池が切れていませんか。 ●本機のリモコン受信部に向けて操作していますか。 ●リモコンと本体の間に障害物 (ラックなどの色つきガラスも含む) などがありませんか。 ●受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たっていませんか。 ●電池を交換すると、リモコンコードを合わせ直す必要がある場合があります。	34 3 3 — — 3、34
操作できない	●正しいドライブが選ばれているか確認してください。 ●ディスクや再生状態 (停止中など) によっては、一部操作ができない場合があります。 ●本体表示窓に「U59」点灯時は本体内部温度が高くなっています。「U59」が消えるまで待ってください。 ●各種安全装置が働いていることがあります。 1 本機の [POWER ㊦/⏻] を押し、電源を切る ●電源が切れない場合は、約3秒間押し続けると強制的に切れます。(または、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む) 2 本機の [POWER ㊦/⏻] を押し、電源を入れる 上記の操作を行っても操作できないときは、販売店にご相談ください。 ●寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露がつくことがあります。1～2時間放置してください。	12 — — —
再生が始まらない、またはすぐに停止する	●ディスクを正しく入れていませんか (裏表が逆になっているなど)。 ●ディスクが汚れていませんか。 ●本機で使えないディスク、未記録のディスクが入っていませんか。	12 35 4、5
ディスクが取り出せない	●本機の故障が考えられます。 電源「切」状態で、本体の [■] と [▶▶/▶▶] を同時に約5秒以上押し続けたままにすると、ディスクトレイは開きます。ディスクを取り出し、販売店にご相談ください。	—
起動が遅い 電源「入」時に、映像や音声の出力に時間がかかる	●下記のような場合は起動に時間がかかります。 - 停電直後または電源コードを差した直後 - HDMIケーブルで接続している場合	—
「BD-Video 24p Output」で「On」が選べない	●24p に対応したテレビの HDMI 端子と接続した時のみ「On」が選べます。 本機をテレビ、アンプと HDMI 端子で接続する場合、アンプによっては、「On」が選べない場合があります。本機とテレビを HDMI 端子で接続し、アンプとは HDMI 端子以外で接続してください。「On」が選べるようになります。	24

## 表示

表示が暗い	●初期設定「FL Display」で明るさを変更してください。	24
表示される再生経過時間が実際の再生時間よりも短い	●本機は 29.97 フレーム (0.999 秒間の再生フレーム) を 1 秒として計算し、再生経過時間を表示しています。従って表示される経過時間と実際の経過時間に誤差が生じます。(例：実際の経過時間が1時間の場合、本機では 59 分 56 秒経過と表示します)	—



映像が出ない 映像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テレビと本機の映像出力端子、S 映像出力端子、コンポーネント映像出力端子、HDMI 映像・音声出力端子のいずれかに接続していることを確認してください。</li> <li>●接続やテレビ側の入力切替を確認してください。</li> <li>●D 端子ピンケーブルまたはコンポーネントビデオケーブルでテレビと接続し、「Component Video Resolution」でテレビが対応していない解像度を選んでいませんか？停止中に本体の[■]と[▶] (PLAY) を同時に5秒以上押し、設定を解除してください。もう一度設定をしてください。</li> <li>●HDMI ケーブル以外のケーブルでテレビと接続し、「BD-Video 24p Output」を「On」に設定すると、映像が乱れることがあります。「BD-Video 24p Output」を「Off」にしてください。</li> </ul>	6、7 — 24 24
画面が自動的に変わる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●初期設定「Screen Saver Function」が「On」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。</li> </ul>	24
ハイビジョン映像で出力されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ハイビジョン映像は映像出力端子またはS映像出力端子からは出力されません。</li> <li>●初期設定「HDMI Video Mode」、「HDMI Resolution」、「Component Video Resolution」を正しく設定してください。</li> <li>●BDビデオの場合、ディスクによっては著作権保護のため、コンポーネント映像出力端子からの出力が480pに制限されることがあります。</li> </ul>	— 24 —
画面メッセージが出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●初期設定「Status Messages」が「Automatic」になっていますか。</li> </ul>	24
横縦比4:3の画像が左右に引き伸ばされる 画面サイズがおかしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テレビ側で画面サイズ比を変更してください。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。</li> <li>●コンポーネント映像出力端子を使用している場合、「Progressive」を「Off」にしてください。改善されなければ、「TV Aspect」を「4:3 Pan &amp; Scan」にしてください。</li> </ul>	— 21、24
再生時の映像に残像が多い	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「3D NR」、「Integrated NR」の設定値を「0」にしてください。</li> </ul>	21
プログレッシブ出力でDVDビデオを再生時、映像の一部が二重にぶれて見える	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「Video」メニューの「Progressive」を「Off」にしてください。映像そのものの編集方法や素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。</li> <li>●HDMIケーブルで接続時は、「HDMI 接続」(⇒ 下記)をご覧ください。</li> </ul>	21 —
画質を調整しても映像が変わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●映像によっては効果が得られない場合があります。</li> </ul>	—
帯部分が灰色になる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●初期設定「Screen Saver Function」を「Off」にすると黒くなります。</li> </ul>	24

音声

音が出ない 聞きたい音声が聞こえない 音が小さい、おかしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●接続や初期設定「Digital Audio Output」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切替なども確かめてください。</li> <li>●[AUDIO]を押して、正しい音声を選んでください。</li> <li>●カラオケディスクなど、サラウンド効果が出ないディスクの場合や二重放送の番組を再生する場合は、「Audio」メニューの「V. Surround」を「Off」にしてください。</li> <li>●接続機器に合わせてスピーカー設定をしてください。「Speaker」で「Multi Channel」を選択すると設定を行うことができます。</li> <li>●HDMI映像・音声出力端子またはデジタル音声出力端子から音声出力時は、音声効果(Re-master、V. Surroundなど)がBitstream信号には動きません。</li> <li>●「BD-Video Secondary Audio」を「Off」に設定時でも、デジタル音声出力端子からは、 -Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD 音声は、Dolby Digital で出力されます。 -DTS-HD 音声は、DTS Digital Surround で出力されます。</li> </ul>	7、8、23 13 21 24 — —
音声が切り換えられない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。</li> <li>●同軸デジタルケーブル、光デジタルケーブルまたはHDMIケーブルでアンプと接続していませんか。初期設定「Digital Audio Output」が「Bitstream」のときは切り換えできません。「PCM」に設定するか、音声コードで接続してください。</li> </ul>	— 7、8、23

HDMI 接続

映像が出ない 映像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体の[■]と[▶] (PLAY) を同時に5秒以上押し、接続機器とのHDMI互換性を高くすることができます。ただし、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD 音声のBitstream出力ができません。これらの信号をBitstream出力するには、初期設定「Restore Default Settings」で、本機をお買い上げ時の設定に戻してください。</li> <li>●HDMIケーブルで接続した機器から映像を出力する場合は、初期設定「HDMI Video Mode」を「On」にしてください。</li> <li>●HDMI接続で4台以上の機器をつなぐと映像が映らなくなることがあります。接続台数を減らしてください。</li> <li>●「BD-Video 24p Output」を「On」に設定時、HDMI認証により24p映像を出力できないことがあります。</li> </ul>	22 24 — 24
横縦比4:3の画像が左右に引き伸ばされる 画面サイズがおかしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「TV Aspect」を「16:9」にしてください。</li> </ul>	24
プログレッシブ出力でDVDビデオを再生時、映像の一部が二重にぶれて見える	<ul style="list-style-type: none"> <li>●HDMI映像・音声出力端子から映像出力時は、下記の手順で設定してください。 1 HDMI映像・音声出力端子以外の映像端子で接続する 2 D端子ピンケーブルまたはコンポーネントビデオケーブルで接続し、初期設定「HDMI Video Mode」を「Off」、「Component Video Resolution」を「480i」に設定してください。</li> </ul>	24

(次ページにつづく)

音が出ない 聞きたい音声が聞こえない 音が小さい、おかしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●HDMIケーブルで4台以上の機器と接続すると音声がかかることがあります。接続台数を減らしてください。</li> <li>●HDMI映像・音声出力端子またはデジタル音声出力端子からBitstream信号出力時は、音声効果は働きません。</li> <li>●HDMIケーブルで接続した機器から音声を出力する場合は、初期設定「HDMI Audio Output」を「On」にしてください。</li> <li>●HDMIケーブルでアンプと接続時に音声が乱れる場合、接続に合わせて初期設定「Speaker」の設定を変更してください。</li> <li>●HDMIケーブルで接続している場合、お使いの機器によっては音声がひずむ場合があります。</li> <li>●「BD-Video Secondary Audio」を「On」に設定時、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HDは、周波数48 kHzのDolby Digitalに変換され出力されます。7.1チャンネルLPCM音声を、5.1チャンネルに変換されます。「BD-Video Secondary Audio」の設定は「Off」です。</li> </ul>	— — 24 24 — 23
-------------------------------------	--	-------------------------------

## カード

SDカード内のMPEG-2の動画と音楽が再生できない	●SDカードのデータはAVCHDとJPEGのみ再生できます。	4
カードのデータを認識しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対応したカードでないか、データが破損している可能性があります。</li> <li>●電源を入れ直してください。</li> </ul>	4 —

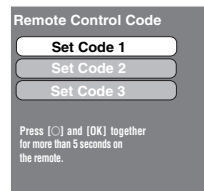
## その他

映像や音声が一時止まる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●シーンの切り換わりで、音声や映像が途切れることがあります。(AVCHD)</li> <li>●2層ディスクに記録されたタイトルの再生時、自動的に層の切り換えを行い1層ディスクのように再生されますが、切り換わり時に一時映像や音声が途切れることがあります。</li> </ul>	— —
BDビデオまたはDVDビデオが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●BDビデオのリージョンコードまたはDVDビデオのリージョン番号を確かめてください。</li> <li>●BDビデオ、DVDビデオの視聴制限が設定されていませんか？設定を変更してください。</li> <li>●BDビデオの種類によってはHDMI映像・音声出力端子からのみ出力可能なものがあります。</li> </ul>	表紙 22 —
音声言語や字幕言語が切り換えられない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクに複数の言語が収録されていますか。</li> <li>●音声言語や字幕言語をディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。</li> </ul>	— 12、15
字幕が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●字幕の入っていないディスクは字幕が表示されません。</li> <li>●「Subtitle」を「On」にしてください。</li> </ul>	— 20
アングルを変えて見ることができない	●複数のアングルが記録されている場合のみ切り換えることができます。	—
レジューム再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●記憶された停止位置は下記の場合、解除されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- [■] が数回押された場合</li> <li>- ディスクトレイが開けられた場合</li> </ul> </li> <li>●ディスクによってレジューム再生機能が機能しないものもあります。</li> </ul>	— —

## リモコンが本機以外の別の機器に反応する場合

当社製機器のほとんどが共通したリモコン方式を採用しているため、再生などの操作をすると、本機以外の別の機器にも影響してしまいます。このときはリモコンコードを変えてください。

- ① [SETUP] を押す
- ② [▲ ▼] で「Setup」を選び、[OK] を押す
- ③ [▲ ▼] で「Remote Control Code」を選び、[OK] を押す
- ④ [▲ ▼] でコード (1、2 または 3) を選び、[OK] を押す
- ⑤ リモコン側のコードを変更するには [OK] を押しながら、数字ボタン ([1]、[2] または [3]) を 5 秒以上押す
- ⑥ [OK] を押す



本体の表示窓に下記の表示が現れたときは、本体とリモコンのリモコンコードが合っていないため操作ができません。



本体のリモコンコード

[OK] を押したままで、表示された数字のボタンを 5 秒間以上押してください。

# 著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- “DTS” は、DTS, Inc. の登録商標です。“DTS-HD Advanced Digital Out” は、DTS, Inc. の商標です。
- SDHC ロゴは商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。

- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- “AVCHD” および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “Blu-ray Disc” は商標です。
- “BONUS VIEW” は Blu-ray Disc Association の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・ AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
  - ・ 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
  - ・ ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。

# 取り扱いについて

## 本機の設置場所

- アンブなどの熱源となるものの上に置かない。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しない。
- 「つゆつき」が起りにくい場所に設置する。

## つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
  - ・ 急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接あたるなど）
  - ・ 湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
  - ・ 梅雨の時期
- 「つゆつき」が起りそうなときは、部屋の温度になじむまで（約 2～3 時間）、電源を切ったまま放置してください。



## お手入れ

### 本体

- 電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

### 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な再生ができなくなることがあります。使用環境や使用回数にもよりますが、約 1 年に一度、レンズクリーナー（別売）(⇒ 2) でほこりなどの除去をおすすめします。使いた後は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

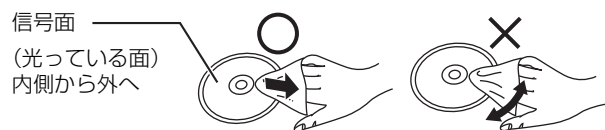
## ディスクやカード

### 持ちかた



### 汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

### 破損や機器の故障防止のために

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- ディスク



- ・ シールやラベルをはらない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
- ・ 印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
- ・ 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- ・ 以下のディスクを使わない。
  - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
  - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  - ハート型など、特殊な形のディスク

### カード

- ・ カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

## 保管場所

### 次のような場所に置いたり保管したりしない

- ほこりの多いところ
  - 高温になるところ
  - 温度差が激しいところ
  - 湿度の高いところ
  - 湯気や油煙の出るところ
  - 冷暖房機器に近いところ
  - 直射日光のあたるところ
  - 静電気・電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）
- 使用後はケースに収めてください。

# 仕様

信号形式: NTSC  
 許容周囲温度: +5 °C ~ +35 °C  
 許容相対湿度: 10% ~ 80% RH (結露なきこと)

再生可能ディスク:  
 BDビデオ: BD-ROM Ver.2.0 準拠  
 BD-RE: Blu-ray Disc Rewritable Format Ver.3.0/2.1/2.0 準拠 (片面1層/片面2層)、JPEG\*6  
 BD-R: Blu-ray Disc Recordable Format Ver.2.0/1.1/1.0 準拠 (片面1層/片面2層)

DVD-RAM:  
 DVDビデオレコーディング規格準拠  
 AVCHD規格準拠\*7、AVCREC規格準拠、JPEG\*4

DVD-R/DVD-R DL:  
 DVDビデオ規格準拠\*1、  
 DVDビデオレコーディング規格準拠\*1、  
 AVCHD規格準拠\*1、7、AVCREC規格準拠\*1

DVD-RW:  
 DVDビデオ規格準拠\*1、  
 DVDビデオレコーディング規格準拠\*1、  
 AVCHD規格準拠\*1、7  
 +R/+RW/+R DL: Video\*1、AVCHD規格準拠\*1、7

DVDビデオ: DVDビデオ規格準拠  
 CD-Audio: CD-DA  
 CD-R/RW: CD-DA、JPEG\*5、MP3

SDカード:  
 FAT12、FAT16、FAT32\*3形式でフォーマットされた  
 SDメモリーカード\*2:  
 JPEG\*4、AVCHD規格準拠\*7

映像出力:  
 出力レベル: 1.0 Vp-p (75 Ω)  
 出力端子: ピンジャック (1系統)

S映像出力:  
 Y出力レベル: 1.0 Vp-p (75 Ω)  
 C出力レベル: 0.286 Vp-p (75 Ω)  
 出力端子: S端子 (1系統)

コンポーネント端子映像出力: 480i/480p/720p/1080i  
 Y出力レベル: 1.0 Vp-p (75 Ω)  
 C<sub>B</sub>/P<sub>B</sub>出力レベル: 0.7 Vp-p (75 Ω)  
 C<sub>R</sub>/P<sub>R</sub>出力レベル: 0.7 Vp-p (75 Ω)  
 出力端子: ピンジャック (Y: 緑、C<sub>B</sub>/P<sub>B</sub>: 青、C<sub>R</sub>/P<sub>R</sub>: 赤) (1系統)

音声出力:  
 出力レベル: 2 Vrms (1 kHz、0 dB)  
 出力端子: ピンジャック  
 端子数: 2 ch出力: 1系統  
 5.1 ch出力: 1系統

音声出力特性:  
 周波数特性:  
 ●DVD (リニア音声): 4 Hz ~ 22 kHz (48 kHz サンプリング)  
 4 Hz ~ 44 kHz (96 kHz サンプリング)  
 ●CD-Audio: 4 Hz ~ 20 kHz  
 S/N比: 115 dB  
 ダイナミックレンジ: 100 dB  
 全高調波歪率: 0.003 %

デジタル音声出力:  
 光デジタル出力: 光コネクタ (1系統)  
 同軸デジタル出力: ピンジャック (1系統)

HDMI映像・音声出力: 480p/1080i/720p/1080p  
 出力端子: Type A 端子 (19ピン) (1系統)  
 HDMI™ (Deep color、High Bit rate Audio)  
 本機はHDMI Control 1に対応しています。

SDカードスロット: 1系統

RS232C:  
 シリアル制御機能:  
 (D-sub 9ピン オス) (1系統) RS232C 準拠  
 38400 bps  
 ボーレート:

電源: AC 100 V、50/60 Hz

消費電力: 約 25 W

待機時の消費電力: 約 1 W

本体外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)  
 突起部を含まず: 430 mm × 59 mm × 313 mm  
 突起部を含む: 430 mm × 59 mm × 320 mm

本体質量: 約 3.3 kg

## お知らせ

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

- \*1 ファイナライズが必要です。
- \*2 SDHCメモリーカードを含む  
 miniSDカードを含む (miniSDアダプターが必要です)  
 microSDカードを含む (microSDアダプターが必要です)
- \*3 ロングファイル名非対応
- \*4 本機で対応している最大フォルダ数と最大ファイル数  
 最大フォルダ数: 300  
 最大ファイル数: 3000
- \*5 本機で対応している最大フォルダ数と最大ファイル数  
 最大フォルダ数: 99  
 最大ファイル数: 999
- \*6 本機で対応している最大フォルダ数と最大ファイル数  
 最大フォルダ数: 300  
 最大ファイル数: 9999
- \*7 AVCHD Ver.1.0規格準拠

●使用可能な容量は少なくなります。(SDカード)

## 言語番号一覧

アイスランド	7383	オランダ	7876	ジャワ	7487	ドイツ	6869	ベンガル	
アイマラ	6589	カザフ	7575	スウェーデン	8386	ナウル	7865	(バングラ)	6678
アイルランド	7165	カシミール	7583	スロバキア	8375	日本語	7465	ベルシャ	7065
アゼルバイジャン	6590	カタロニア	6765	スロベニア	8376	ネパール	7869	ポーランド	8076
アッサム	6583	ガリチア	7176	スワヒリ	8387	ノルウェー	7879	ポルトガル	8084
アファル	6565	韓国(朝鮮)語	7579	スダン	8385	ハウサ	7265	マオリ	7773
アフリカーンス	6570	カナダ	7578	スペイン	6983	ハンガリー	7285	マケドニア	7775
アブハジア	6566	カンボジア	7577	ズールー	9085	バシキール	6665	マライ(マレー)	7783
アムハラ	6577	キルギス	7589	セルビア	8382	バスク	6985	マラッタ	7782
アラビア	6582	ギリシャ	6976	セルボクロアチア	8372	バシュト	8083	マラヤーラム	7776
アルバニア	8381	クルド	7585	ソマリ	8379	パンジャブ	8065	マルタ	7784
アルメニア	7289	クロアチア	7282	タイ	8472	ヒンディー	7273	マダガスカル	7771
イタリア	7384	グアラニー	7178	タター	8484	ビハール	6672	モルダビア	7779
イディッシュ	7473	グジャラト	7185	タミル	8465	ビルマ	7789	モンゴル	7778
インターリングア	7365	グリーンランド	7576	タガログ	8476	フィジー	7074	ヨルバ	8979
インドネシア	7378	グルジア	7565	タジク	8471	フィンランド	7073	ラオ	7679
ウェールズ	6789	ケチュア	8185	チェコ	6783	フェロー	7079	ラテン	7665
ウオロフ	8779	ゲール		中国語	9072	フランス	7082	ラトビア(レット)	7686
ヴォラピュック	8679	(スコットランド)	7168	チベット	6679	フリジア	7089	リトアニア	7684
ウクライナ	8575	コーサ	8872	ティグリニア	8473	プータン	6890	リンガラ	7678
ウズベク	8590	コルシカ	6779	テルグ	8469	ブルガリア	6671	ルーマニア	8279
ウルドゥー	8582	サモア	8377	デンマーク	6865	ブルターニュ	6682	レトロマン	8277
英語	6978	サンスクリット	8365	トウイ	8487	ヘブライ	7387	ロシア	8285
エストニア	6984	ショナ	8378	トルクメン	8475	ベトナム	8673		
エスペラント	6979	シンド	8368	トルコ	8482	ペロルシア			
オーリヤ	7982	シンハラ	8373	トンガ	8479	(白ロシア)	6669		

# 用語解説

## サ サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

## タ ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくなります。

## ダウンミックス

ディスクに収録されたサラウンドの音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDビデオなどをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。

## パン & スキャン/レターボックス

BDビデオ、DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面（画面の横縦比が16:9）を前提に制作されているため、従来のサイズ（横縦比が4:3）のテレビに映し出そうとすると、16:9の映像が4:3に収まらなくなります。4:3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

### ●パン & スキャン:

映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。



### ●レターボックス:

画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を映し出します。



## フィルム/ビデオ素材

一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

### ●フィルム素材

フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。（映画の映像などで使われています）

### ●ビデオ素材

映像情報が30フレーム/秒、60フィールド/秒で記録されているもの。（テレビドラマやテレビアニメの映像などで使われています）

## フレーム/フィールド

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。



フレーム フィールド フィールド

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

## プログレッシブ (p)/ インターレース (i)

インターレース（飛び越し走査）は、画面の表示を奇数段と偶数段の2回に分けて行う従来の映像信号です。プログレッシブ（順次走査）は、画面の表示を1回で行います。そのため、インターレースに比べてちらつきを抑えた高精細な映像を再現できます。

イーブシーエイチディー

## A AVCHD

高精細なハイビジョン映像を8cmDVD記録用ディスクやメモリーカード上に撮影記録できるように開発された新しいビデオカメラ記録フォーマット（規格）の名称です。

ビーディージェイ

## B BD-J

BDビデオにはJAVAアプリケーションを含むものがあり、そのアプリケーションはBD-Jと呼ばれます。通常のビデオの操作に加えて、いろいろなインタラクティブな機能を楽しむことができます。

ビットストリーム

## B Bitstream

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1chなどのサラウンド音声信号に戻されます。

## B BONUS VIEW™ (Final Standard Profile)

BDビデオの新しい機能で、ディスクに記録された本編以外の副映像などを楽しむことができます。

## D Dolby Digital

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2ch）はもちろん、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

## Dolby Digital Plus

ドルビーデジタルの改良版で、さらなる高音質、5.1ch以上の多チャンネル、より広いビットレートを実現しています。BD規格では最大7.1chまで対応しています。

## Dolby TrueHD

DVDオーディオで採用されているMLPロスレスの機能拡張版でスタジオマスターの音声データを完全に再生する高品位な音声方式です。BD規格では最大7.1chまで対応しています。

## DTS (Digital Theater Systems)

映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

## DTS-HD

映画館で採用されているDTSをさらに高音質/高機能化した音声方式で、下位互換性により従来のAVアンプでもDTSとして再生できます。BD規格では最大7.1chまで対応しています。

## H HDMI (High-Definition Multimedia Interface)

HDMIとは、デジタル機器向けのインターフェースです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

## J JPEG (Joint Photographic Experts Group)

カラー静止画を圧縮、展開する規格の1つです。デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10~1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

## L LPCM (リニア PCM)

CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

## M MP3 (MPEG オーディオレイヤー 3)

音質を大きく損なうこと無しにサイズを約1/10に圧縮する音声圧縮方法です。

## 1 1080p、1080i、720p、480p、480i

映像信号の有効走査線数と走査方式の略称を表しています。有効走査線数は、実際の画面を構成する走査線数のことをいいます。インターレース（i=飛び越し走査）は、1行おきに走査する方式です。プログレッシブ（p=順次走査）は、上から順に走査する方式で、インターレースよりちらつきの少ない画像になります。また、1080p、1080i、720p、480p、480iの表示は総走査線数にあたる1125p、1125i、750p、525p、525iと表示されることもあります。



## 2 24p

24コマ/秒で記録されたプログレッシブ（順次走査）方式です。




# 安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	<b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	<b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

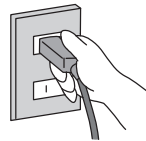
**電源コード・プラグを破損するようなことはしない**  
(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

**電源プラグは根元まで確実に差し込む**



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

**電源プラグのほこり等は定期的にとる**



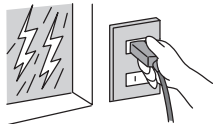
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

**雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない**

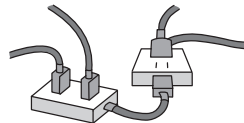


接触禁止



感電の原因になります。

**コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない**



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

**ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

**メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない**



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

**内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない**



ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

**異常があったときは、電源プラグを抜く**



電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

**分解、改造をしない**



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご相談ください。

本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

## 警告

### 電池は誤った使いかたをしない



- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどいっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

### 電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする



- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

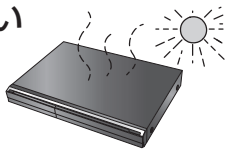
### 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す



そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

## 注意

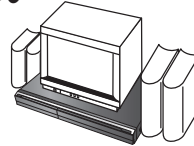
### 異常に温度が高くなるところに置かない



外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

### 放熱を妨げない



内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

- 後面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがないでください。

### 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



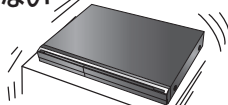
電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

### 不安定な場所に置かない



- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない



倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

### 本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない



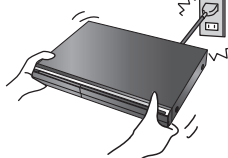
倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

### 長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す



液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

### コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとする、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

### 長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクは、保護のため取り出ししておいてください。

### ディスクトレイに指をはさまれないように注意する



指に注意

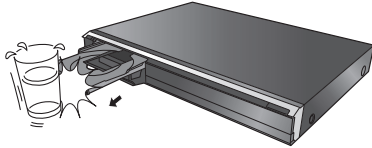
けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

# 安全上のご注意 (必ずお守りください)(つづき)



## 機器の前にもものを置かない



リモコンの「OPEN/CLOSE」ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの「OPEN/CLOSE」ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの「OPEN/CLOSE」ボタンを押さないようご注意ください。

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

## ■ 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

### 保証期間: お買い上げ日から本体 1 年間

ただし光ピックアップ部、ドライブユニット、電池は、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

## ■ 補修用性能部品の保有期間 8 年

当社は、このブルーレイディスクプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■ 修理を依頼されるとき

「故障かな!？」(⇒ 32～34)に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は  
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは  
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

## ● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

## ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。

また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

## ご連絡いただきたい内容

製品名	ブルーレイディスクプレーヤー	お買い上げ日	年 月 日
品番	DMP-T1000	故障の状況	できるだけ具体的に

## 愛情点検

## 長年ご使用のブルーレイディスクプレーヤーの点検を!



こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

## 便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	販売店名	☎ ( ) -
品番	DMP-T1000		

# パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社 ネットワーク事業グループ

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2008

RQT9148-MT  
F0308AK1088